

# 平成 2 7 年度事業報告書

自 平成 2 7 年 4 月 1 日

至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人志木市社会福祉協議会

## 目 次

### <社会福祉事業>

1	法人運営に要する経費	-----	1
2	地域福祉に要する経費	-----	7
3	介護予防事業に要する費用	-----	20
4	生活福祉資金貸付事業に要する経費	-----	22
5	相談支援事業に要する経費	-----	23
6	法人後見事業に要する経費	-----	25
7	成年後見支援センターに要する費用	-----	27
8	地域活動支援センターに要する経費	-----	29
9	志木市児童センターに要する経費	-----	31
10	宗岡子育て支援センターに要する経費	-----	34
11	学童保育クラブに要する経費	-----	37
12	居宅介護支援事業に要する経費	-----	40
13	訪問介護事業に要する経費	-----	42
14	たんぽぽサービス事業に要する経費	-----	44
15	志木市福祉センターに要する経費	-----	46
16	志木市第二福祉センターに要する経費	-----	48

### <多機能型事業>

17	多機能型事業所（生活介護）に要する経費	-----	51
18	多機能型事業所（就労継続支援A型）に要する経費	-----	54
19	多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費	-----	56

### <公益事業>

20	地域包括支援センターに要する経費	-----	58
21	志木市総合福祉センターに要する経費	-----	65
22	宗岡第二公民館に要する経費	-----	68

### <収益事業>

23	自動販売機の設置に要する経費	-----	71
----	----------------	-------	----

サービス区分	1 法人運営に要する経費
--------	--------------

事業の概要 社会福祉法人志木市社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織管理を行う部門として、各グループ間との連携を図る事業を推進した。

1 決算額

勘定科目	決算額	説明
会費収入	1,674,623	社協会費
分担金収入	6,377,460	受託事業等管理事務
補助金収入	36,813,000	市補助金、高齢者雇用補助
利息収入	141,009	預金利息
その他収入	762,382	実習謝礼他
資産取崩収入	739,476	宗二公分取崩
事業区分間繰入金収入	6,321,566	地域包括(2,474,208)、総福(3,069,751)、自動販売機(777,607)
サービス区分間収入	28,075,167	法人後見(291,994)、居宅介護(5,241,378)、訪問介護(22,541,795)
収入合計	80,904,683	
人件費支出	53,579,596	職員人件費
事業費支出	2,122,878	広報事業、表彰事業他
事務費支出	4,846,801	事務所管理費他(専有面積)
助成金支出	567,100	会員募集事務費
積立資産支出	40,000,000	運営調整基金へ(40,000,000)
事業区分間繰入金支出	739,476	宗二公へ(739,476)
サービス区分間支出	337,573	地活へ(337,573)
支出合計	102,193,424	
収支差額	△21,288,741	前期末支払資金残高を充当

<事業別財源内訳>

勘定科目	法人役員活動	事務局活動	組織強化活動	広報活動	適正運営
会費収入	0	0	940,608	734,015	0
分担金収入	773,337	4,186,928	187,951	1,132,944	96,300
補助金収入※	0	36,813,000	0	0	0
利息収入	0	141,009	0	0	0
その他収入	0	762,382	0	0	0
資産取崩収入	0	739,476	0	0	0
繰入金収入	4,128,755	30,267,978	0	0	0
収入合計	4,902,092	72,910,773	1,128,559	1,866,959	96,300
人件費支出	4,128,755	49,450,841	0	0	0

事業費支出	0	13,600	401,629	1,707,649	0
事務費支出	773,337	3,658,024	159,830	159,310	96,300
助成金支出	0	0	567,100	0	0
積立資産支出	0	40,000,000	0	0	0
繰入金支出	0	1,077,049	0	0	0
支出合計	4,902,092	94,199,514	1,128,559	1,866,959	96,300
収支差額	0	△21,288,741	0	0	0

※補助金は、市補助金

## 2 重点施策への取り組み

分かりやすく効果的に社協活動の周知を図ることができるようパンフレットを作成し、広報活動の強化に取り組んだ。また、職員の意欲醸成、能力向上を目指し、グループごとに職員研修を行った。

## 3 主要な施策の成果

### (1) 法人運営・役員活動

経営委員会、理事会、評議員会、監事会を開催して経営に関する協議を進め、地域福祉関係団体等との関係強化のための渉外活動を行うとともに、法人として継続的な運営をするための体制整備を行った。

#### ① 会議等

##### ア、経営委員会 3回

回数	実施日	出席者/定数	主な内容
第1回	5/19	6/6	理事、評議員の選任について 平成26年度事業報告及び決算、監査報告について 第1回補正予算について 多機能型事業所の見直しについて
第2回	8/10	6/6	第2回理事会の議案について ①多機能型事業所の見直しについて ②規程の改正について ③第2回補正予算について その他 ①会員規程について ②役員改選について ③社協防災訓練について ④戦後70周年平和祈念事業について
第3回	3/7	5/6	第4回理事会の議案について ①評議員の委嘱について ②第3回補正予算について ③規程の改正について ④平成28年度予算及び事業計画について

##### イ、理事会 4回

回数	実施日	出席者/定数 上段;理事	議案番号 主な内容
----	-----	-----------------	--------------

		下段；監事	
第1回	5 / 27	14 / 14 2 / 2	第5号 評議員の委嘱について 6 平成26年度事業報告書及び決算の認定について 7 平成27年度第1回補正予算について
第2回	8 / 19	15 / 15 1 / 2	第8号 多機能型事業所の見直しについて 9 多機能型事業所運営規程の一部を改正する規程について 10 事務局組織規程の一部を改正する規程について 11 経理規程の一部を改正する規程について 12 平成27年度第2回補正予算について
第3回	9 / 1	15 / 15 1 / 2	第13号 会長の選任について 14 副会長の選任について 15 役員等の報酬及び費用弁償支給規程の一部を改正する規程について
第4回	3 / 24	15 / 15 2 / 2	第1号 評議員の委嘱について 2 平成27年度第3回補正予算について 3 会員規程の全部を改正する規程について 4 役員等選任規程の全部を改正する規程について 5 事務局組織規程の一部を改正する規程について 6 経理規程の一部を改正する規程について 7 災害見舞金等支給規程の一部を改正する規程について 8 地域活動支援センター運営規程の一部を改正する規程について 9 平成28年度予算及び事業計画について

ウ、評議員会 4回

回数	実施日	出席者／定数	議案番号 主な内容
第1回	5 / 27	24 / 38	第3号 理事の選任について 4 平成26年度事業報告書及び決算の承認について 5 平成27年度第1回補正予算について
第2回	6 / 3	30 / 40	第6号 役員選考委員会委員の選任について
第3回	8 / 19	31 / 40	第7号 理事の選任について 8 監事の選任について 9 平成27年度第2回補正予算について
第4回	3 / 28	26 / 39	第1号 平成27年度第3回補正予算について 2 平成28年度予算及び事業計画について 3 理事の選任について

エ、監事会 1回

回数	日程	出席者／定数	主な内容
第1回	5 / 13	2 / 2	平成26年度事業報告・決算監査

② 団体との渉外活動

延べ38回、関係団体の総会・新年会等に出席した。(本会主催会議・事業以外)  
また、5件の後援を行った。

ア、総会・記念大会 24回

イ、新年会 5回

ウ、寄附 5回

エ、行事 8回

オ、後援活動 6件

③ 寄附金の受け入れ 34件 1,065,356円

## (2) 事務局活動

常勤職員7人分の人件費及び事務所の維持管理費など、法人事務局として必要な費用を支出した。

① 職員の人件費並びに事務局運営のための経費 7人分

② 法人及び事務局運営のための会議・研修への参加 14件 17人参加

③ 市・団体関係会議への参加

ア、市行事・会議 3回

イ、志木市児童福祉審議会 2回

ウ、志木市要保護児童対策地域協議会代表者会議 1回

エ、志木市青少年育成市民会議 6回

オ、健康づくり市民推進会議 1回

カ、志木市地域福祉推進委員会 1回

キ、志木市コミュニティ協議会 23回

ク、志木市民生委員・児童委員協議会 11回

④ グループ長・所長等会議 12回

⑤ 市町村社協連絡会関係会議への参加

ア、市町村社協連絡会総会等 1回

イ、市町村社協連絡会常務理事・事務局長会議 2回

ウ、市町村社協連絡会法人運営部会 1回

エ、朝霞地区四市社協ブロック会 8回

## (3) 実習生・職場体験の受け入れ

① 相談援助実習(社会福祉士)

4大学 計6人 延べ102日間(26年度;6大学、計8人、延べ134日間)

② 中学生職場体験

ア、志木中学校 2人 延べ6日(11/18~20 3日間)

イ、宗岡中学校 2人 延べ6日(1/26~28 3日間)

## (4) 組織強化活動

法人組織を強化するため、会員の募集や福祉功労表彰、職員研修を行った。

① 組織財政委員会 2回

回数	実施日	出席者／定数	主な内容
第1回	5／20	8／9	評議員の改選について 平成26年度事業報告・決算について 平成27年度第1回補正予算について 多機能型事業所の見直しについて
第2回	3／9	8／9	評議員の委嘱について 平成27年度第3回補正予算について 規程の改正について 平成28年度予算・事業計画について

② 会員募集及び募金募集

ア、地区委員会 2回

回数	実施日	出席者／定数	主な内容
第1回	7／28	31／38	平成27年度社協会員募集について 地域福祉活動助成について
第2回	9／15	26／38	平成27年度共同募金運動について

イ、会員募集説明会 5回

ウ、社協会員加入実績 6,899,400円

エ、赤い羽根募金実績 4,171,637円

オ、歳末たすけあい募金実績 2,453,127円

③ 福祉表彰

ア、福祉功労者表彰式典 10月24日

感謝4人・6団体

イ、県社会福祉大会記念表彰式典 11月20日

知事表彰5団体 大会会長表彰13人 共同募金会長表彰3人・1団体

④ 職員研修

ア、新任研修 2回 25人出席

イ、災害ボランティアセンター研修

日程	8／29
会場	総合福祉センター1階ホール他

a 社協防災訓練

訓練名及び内容	参加者等
職員招集訓練	
参加職員数	179人
未受信職員数	0人
連絡受信平均時間	9分
参集職員数	87人
参集平均時間(参加者平均)	23分
災害VC設置訓練	
参加者数	99人
運営施設シフト勤務	13人

b 施設別訓練

施設別訓練		参加職員	利用者等
福祉センター		6人	41人
第二福祉センター		4人	9人
包括	柏の杜	3人	
	館・幸町	3人	
学童	宗岡	3人	10人
	宗岡第二	3人	8人
	宗岡第三	2人	2人
	宗岡第四	2人	4人
合計		26人	74人

c 災害時の対応研修 120人出席

(5) 広報活動

市内の地域福祉情報の発信及び社協運営の情報公開をするため、社協だよりの発行やホームページの運営等、広報活動を行った。

① 社協だよりの発行

ア、広報編集委員会 12回

イ、定期発行 発行部数 年6回 各25,500部(全戸配布)

② ホームページの運営

3月31日現在アクセス数; 21,300件

更新回数 47回

③ パンフレットの作成

全8頁カラー 15,500部

(6) 福祉サービス適正運営

福祉サービスを適正に運営するため、第三者委員を配置し、苦情解決及び事故防止に努めた。

① 第三者委員会 1回 3人出席

② 研修会 1回 3人参加

③ 苦情受付件数 23件(第三者委員による対応なし)

④ 事故発生件数 31件

⑤ 業務報告件数 5件



サービス区分	2 地域福祉に要する経費
--------	--------------

事業の概要 小地域を基盤とした福祉活動を支援することにより、福祉コミュニティの形成を図った。また、地域住民の福祉理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア活動の育成、援助を行った。さらに、公的制度を補完する在宅福祉サービスを展開した。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
会費収入	3,204,421	社協会費
寄附金収入	1,065,356	寄附金
補助金収入	5,128,400	共同募金配分金等
受託金収入	3,143,000	市受託金
事業収入	309,500	参加者負担金
収入合計	12,850,677	
事業費支出	7,091,871	自主事業
事務費支出	613,606	事務所管理費（専有面積）
助成金支出	5,145,200	助成事業
支出合計	12,850,677	
収支差額	0	

### 2 重点施策への取り組み

福祉やボランティアについて関係団体と連携を取りながら幅広く周知し、地域の活動に繋がるような支援、調整を行った。

また、地域包括支援センター等と連携を図り、会食交流会や家族介護者への支援事業を実施したほか、今年度より子育てサロンのスタッフ養成を目的とした「なかまほいく」を実施し、地域の福祉人材育成に努めた。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 地域福祉活動

小地域活動の推進として、町内会の運営や事業にかかる費用に対し助成したほか、ボランティア・市民活動を中心とした地域福祉活動を行う団体の事業に対し、事業費の助成を行った。また、小地域サロン活動を推進するため助成するとともに、運営相談や事業企画に関する相談・調整を行った。

#### <事業別財源内訳表>

勘定科目	地域福祉活動 助成	地域福祉活動 計画	小地域サロン	生活支援体制 整備	事務管理
会費収入	324,188	648,000	576,336	0	204,192
寄附金収入	1,065,356	0	0	0	0

受託金収入	0	0	0	378,000	
事業収入	0	0	58,500	0	0
補助金収入	150,000	0	0	0	0
収入合計	1,539,544	648,000	634,836	378,000	204,192
事業費支出	0	648,000	634,836	338,904	0
事務費支出	18,000	0	0	39,096	204,192
助成金支出	1,521,544	0	0	0	0
支出合計	1,539,544	648,000	634,836	378,000	204,192
収支差額	0	0	0	0	0

① 交流支援助成

身近な地域で支えあう関係づくりを推進するため、交流を深めることができるように事業の実施に必要な経費を助成した。

ア、地区敬老会支援 18地区 541,300円

イ、世代間交流支援 27地区 871,700円

町内会・自治会名	地区敬老会支援			世代間交流支援		
		申請団体	助成額		申請団体	助成額
市場	1	町内会	40,000			
寿町						
上町	2	婦人部	30,700			
仲町				1	町内会	40,000
双葉町	3	町内会	23,500			
東町	4	町内会	24,100	2	老人クラブ	40,000
大原						
中野	5	町内会	35,800	3	婦人会	19,300
柏	6	婦人会	23,500	4	子ども会	11,400
城	7	婦人部	28,000	5	子ども会	40,000
大塚				6	町内会	40,000
中道				7	町内会	40,000
愛宕町						
西町	8	町内会	18,100			
久保				8	子ども会	34,400
城ヶ丘				9	子ども会	25,300
福住	9	婦人会	33,700			
館				10	町内会	40,000
柳瀬川	10	町内会	2,000	11	町内会	29,600
羽根倉				12	町内会	40,000
上木町	11	婦人会	30,700			
宗岡三区	12	婦人会	32,200	13	町内会	24,100
宗岡四区	13	婦人会	40,000	14	町内会	35,500

宗岡五区	14	婦人会	23,500	15	町内会	36,800
宗岡六区	15	婦人会	35,500	16	子ども会	37,300
ニューハイツ	16	町内会	40,000	17	老人クラブ	25,000
志木ハイデンス				18	町内会	40,000
グリーンパーク志木				19	町内会	18,000
南の森壱番街				20	町内会	40,000
南の森弐番街				21	町内会	40,000
東の森壱番街				22	老人クラブ	34,000
東の森弐番街	17	町内会	40,000			
中央の森壱番街				23	町内会	40,000
中央の森弐番街				24	町内会	40,000
中央の森参番街	18	町内会	40,000	25	町内会	38,200
ガーデンプラザ				26	町内会	12,800
シーズクラブ				27	町内会	10,000
柳瀬川団地						
合計	18地区		541,300	27地区		871,700

エ、当事者地域交流支援 10団体 20事業 456,900円

	団体名	事業数	助成額
1	志木市身体障害者福祉会	3	82,000
2	あじさいの会	3	58,800
3	志木市視覚障害者六星の会	3	58,000
4	志木市心身障害児者を守る会	3	52,600
5	志木市手をつなぐ育成会	3	68,400
6	志木市聴覚障害者の会	1	35,500
7	志木市精神障害者家族会さくら草	1	23,000
8	おんどりクラブ	1	25,000
9	愛のかけはし連絡協議会	1	18,700
10	志木市老人クラブ連合会	1	34,900
	合計 10団体	20	456,900

② 訪問支援助成

地域住民と福祉施設の利用者との交流や地域住民と在宅で生活している外出が困難な高齢者との交流を促進するため、地域住民が福祉施設や高齢者宅への訪問活動を行うために必要な経費を助成した。

ア、福祉施設等訪問活動 4団体 52,000円

	団体名	訪問先	助成額
1	おんどりクラブ	多機能型事業所	20,400
2	市場子ども会育成部	ブロン	2,400
3	志木市老人クラブ連合会	2施設	24,800
4	宗岡六区寿会	みつばすみれ学園	4,400
	合計 4団体	5施設	52,000

イ、高齢者在宅訪問活動 6 団体 162,300 円

	団体名	訪問件数	助成額
1	志木市老人クラブ連合会	3 回延べ 3 5 3 件	90,000
2	双葉町みどり会	3 回延べ 7 8 件	18,600
3	中宗岡四区せせらぎ会	2 回延べ 8 4 件	24,000
4	志木ハイデンス暖団会	2 回延べ 2 5 件	6,800
5	大塚シニアクラブ	2 回延べ 6 件	1,800
6	東町共楽会	3 回延べ 1 0 3 件	21,100
合計 6 団体		1 5 回 6 4 9 件	162,300

③ 運営支援助成

地域活動を活発にするための資金として、町内会・自治会に助成した。また、高齢者や障がい者をはじめとした地域住民の生活支援を行う活動について、団体として安定した運営に必要な経費を助成した。

ア、地域活動支援助成 3 8 地区 1,207,200 円

内訳 (a+b)	地区数	支給額(円)
a 会費募集実績額の 1 5 %	3 8	919,600
b 一般募金募集実績額の 1 0 %	3 8	287,600

<町内会・自治会別>

No.	町内会名	27年度 支給活動費	No.	町内会名	27年度 支給活動費
1	市場町内会	48,300	20	羽根倉町内会	48,300
2	寿町町内会	85,800	21	上木町町内会	85,800
3	上町町内会	53,800	22	宗岡三区町内会	53,800
4	仲町町内会	58,500	23	宗岡四区町内会	58,500
5	双葉町町内会	42,200	24	宗岡五区町内会	42,200
6	東町町内会	53,600	25	宗岡六区町内会	53,600
7	大原町内会	40,700	26	ニューハイツ町内会	40,700
8	中野町内会	19,900	27	志木ハイデンス町内会	19,900
9	柏町内会	6,300	28	グリーンパーク志木町内会	6,300
10	城町内会	37,400	29	南の森壱番街町内会	37,400
11	大塚町内会	22,500	30	南の森弐番街町内会	22,500
12	中道町内会	28,500	31	東の森壱番街町会	30,600
13	愛宕町町内会	46,500	32	東の森弐番街町会	21,100
14	西町町内会	8,700	33	中央の森壱番街町内会	20,900
15	久保町内会	18,700	34	中央の森弐番街町内会	25,700
16	城ヶ丘町内会	21,600	35	中央の森参番街町内会	21,200
17	福住町会	30,900	36	ガーデンプラザ町内会	3,800
18	館町内会	27,500	37	シーズクラブ	3,000
19	柳瀬川町内会	8,100	38	柳瀬川団地自治会	2,500
合 計					1,257,300

イ、地域住民生活支援活動助成 1 8 団体 480,000 円助成

	団 体 名	助成額
1	志木市老人クラブ連合会	30,000
2	志木市聴覚障害者の会	30,000
3	志木市身体障害者福祉会	30,000
4	志木市心身障害児者を守る会	30,000
5	あじさいの会	20,000
6	志木市視覚障害者六星の会	30,000
7	志木市精神障害者家族会さくら草	30,000
8	志木市手をつなぐ育成会	30,000
9	志木点訳サークル	30,000
10	志木音訳ボランティアもくせいの会	30,000
11	志木手話サークル	20,000
12	おんどりクラブ	30,000
13	かざぐるま日本語教室	20,000
14	志木おもちゃクリニック	20,000
15	人形劇団あかおに	20,000
16	たけのこ文庫	20,000
17	話し相手ボランティア語楽の会	30,000
18	ゆうあい	30,000
	合計 18団体	480,000

ウ、戦没者遺族会活動支援（志木市遺族会） 1団体 150,000円助成

④ ボランティア活動支援（ボランティア活動保険補助）

ボランティア活動保険料の補助を行い、加入促進を図った。

補助人数	助成額
1,759人	263,850円

⑤ 地域福祉活動助成金審査委員会 1回

委員会設置規程に基づき、助成金交付事業実施において公平公正な審査を行った。

実施日	出席者／定数	主な内容
7/30	7/7	地域福祉活動助成事業について 平成27年度助成金申請について、諸報告

⑥ 地域福祉活動推進委員会 2回

委員会設置規程に基づき、地域福祉活動の推進を図るサービスの質の向上を図るため、会議を開催した。

回数	実施日	出席者／定数	議 題
第1回	5/21	9/10	評議員の改選について 平成26年度事業報告・決算について 平成27年度第1回補正予算について 多機能型事業所の見直しについて
第2回	3/8	8/10	評議員の委嘱について 平成27年度第3回補正予算について 規程の改正について 平成28年度予算及び事業計画について

⑦ 地区民生委員・児童委員協議会への参加

東部地区民生委員・児童委員協議会定例会	8回	川嶋（山本）
西部地区民生委員・児童委員協議会定例会	12回	田村（野末）
宗岡地区民生委員・児童委員協議会定例会	10回	小原（徳永）

⑧ 小地域サロン活動の支援

近所で集まることができる場をつくり、地域で支え合いを進めるため、小地域サロン活動の設立・運営に関する支援を実施した。

- ア、活動相談 30箇所
- イ、運営支援 25箇所
- ウ、設立準備相談 3箇所
- エ、サロン活動意見交換会の実施 1回
- オ、サロンスタッフ養成 1事業（全10回）

子育てボランティア養成講習会	実施日	9月25日～11月27日（全10回）毎週金曜日
	会場	総合福祉センター
	受講生	延べ13人参加

- カ、サロン関連研修会への参加 2回参加

⑨ 生活支援体制整備（生活支援コーディネーター設置）

市主催の協議体（3月25日、51人参加）の事務局支援を行った。

その他、常勤職員1人を配置するため、職員募集及び事務所の整備を行った。

(2) ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア・市民活動センターを志木市総合福祉センター1階に設置し、ボランティア関連の保険窓口業務、ボランティア活動保険の補助を行い、ボランティア活動を行う人・団体の活動支援を行うほか、さまざまな障がい者を支援する技術習得講座、地域に向けた障がい理解講座などを開催した。

また、次代を担う子ども達に福祉や障がい、ボランティアに対する理解の促進を図るため、小中学校を中心として福祉体験学習を推進するとともに、現状の課題を解決するため、福祉教育に関する研修会や協力者の連絡会議などを行った。

<事業別財源内訳表>

勘定科目	ボラセン運営	入門手話講習	基礎手話講習	点訳講習	朗読講習
会費収入	125,153	300,030	538,880	72,000	53,960
補助金収入※	55,400	20,000	20,000	20,000	20,000
事業収入	0	32,000	51,000	3,000	9,000
収入合計	180,553	352,030	613,120	95,000	82,960
事業費支出	178,553	352,030	613,120	95,000	82,960
事務費支出	2,000	0	0	0	0
支出合計	180,553	352,030	613,120	95,000	82,960
収支差額	0	0	0	0	0

勘定科目	話しボラ講習	初めてボラ講座	福祉学園	学校福祉教育	地域福祉教育
------	--------	---------	------	--------	--------

会費収入	96,540	11,700	114,044	15,956	22,723
補助金収入※	20,000	0	50,000	80,000	30,000
事業収入	51,000	0	0	0	0
収入合計	167,540	11,700	164,044	95,956	52,723
事業費支出	167,540	11,700	164,044	94,926	52,723
事務費支出	0	0	0	1,030	0
支出合計	167,540	11,700	164,044	95,956	52,723
収支差額	0	0	0	0	0

※補助金収入は県社協補助金

① ボランティアに関する相談・調整・情報提供 61件

ボランティアコーナーを志木市総合福祉センター内に設置し、ボランティア・市民活動に関する情報提供体制を整備し、ボランティア活動に関する支援を行った。

相談・調整等内容	件数
何かボランティアをしたい	28件
誰かボランティアが欲しい	20件
ボランティア活動を知りたい	9件
他グループに協力(調整)してほしい	4件
合計	61件

② 埼玉県ボランティアコーディネーター連絡会への参加 2回参加

県内のボランティアコーディネーターとの連携を深め、資質の向上に努めた。

③ ボランティア活動団体助成金申請支援

民間の助成事業など、ボランティア活動に関する助成金の申請支援を行った。

助成案内送付	5事業	延べ44団体
助成申請支援	5事業	8団体
助成決定数	3事業	延べ3団体

④ ボランティア関連保険

安心してボランティア活動を実施していただくため、保険加入の支援、事故の対応などを行った。

ア、窓口受付

ボランティア活動保険	1,762人
ボランティア行事用保険	301件
福祉サービス総合補償	2件
送迎サービス補償	1件
事故対応	3件

イ、活動保険補助(再掲)

1,759人の加入者に対し、保険料の補助を行い、加入促進を図った。

⑤ ボランティア体験プログラムー福祉学園ー

ボランティア活動をすることが初めての人向けに体験講座を実施した。

22コース 66人参加

事前オリエンテーション	7/22 66人参加	
コース	7/27～8/21の期間66人参加 (うち小学生6人、中学生32人、高校生28人)	参加者
	あったかの家 第二福祉センター みつばすみれ学園 すずらん 市内保育園 学童保育クラブ いろは遊学図書館 宗岡公民館 宗岡第二公民館 エコシティ志木 かざぐるま日本語教室 志木おやこ劇場 西原子育て支援センター プティパ	4人 2人 1人 1人 20人 2人 5人 2人 6人 6人 4人 3人 7人 3人
報告会	8/20 参加者57人	

⑥ ボランティア育成

支援が必要な人を支えるボランティアの育成として、必要な専門的技術を習得するために各講習会を実施した。

はじめての ボランティア 講座	実施日	4月10日・11月3日(全2回・4時間)
	会場	総合福祉センター、もくせい
	受講生	8人参加
手話奉仕員 養成講習会 入門課程	実施日	9月30日～2月24日(夜間全20回・40時間)
	会場	いろは遊学館
	受講生	16人参加、16人修了
手話奉仕員 養成講習会 基礎課程	実施日	4月24日～11月20日(昼間全30回・60時間)
	会場	宗岡公民館
	受講生	18人参加、13人修了
朗読講習 会	実施日	1月12日～2月16日(全8回・16時間)
	会場	宗岡第二公民館(総合福祉センター)
	受講生	9人参加、9人修了
点訳講習 会	実施日	4月16日～6月18日 (初級:全6回・12時間)(中級:全4回・8時間)
	会場	もくせい
	受講生	初級5人参加、5人修了 中級1人参加、1人修了
話し相手 ボランティア 養成講座	実施日	1月13日～2月17日(全6回・16時間30分)
	会場	宗岡第二公民館(総合福祉センター)
	受講生	17人参加、17人修了



⑦ 学校における福祉教育

市内小中学校で取り組む福祉体験学習をはじめとする福祉教育について、ボランティア団体や当事者の方々との調整や備品の貸出、授業企画などの支援を行った。

ア、福祉体験実績

小学校	8校	67件
中学校	4校	18件
合計	12校	85件

<内訳>

小学校	ふくしについて	視覚障がいについて	アイマスク体験	点字体験	聴覚障がいについて	手話体験	肢体不自由について	車いす体験	盲導犬について	授業参観
志木小 4年	○	○	○	○	○	○	○	○		
志木二小 4年	○	○	○	○	○	○	○	○		
志木三小 4年	○	○	○	○	○	○		○	○	
志木四小 4年	○	○	○	○				○		○
3年	○				○	○				
宗岡小 4年	○	○	○	○	○	○	○	○		
宗岡二小 4年	○	○	○	○	○	○	○	○		
宗岡三小 4年	○	○	○	○	○	○	○	○		
宗岡四小 4年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小学校計 67件	9回	8回	8回	8回	8回	8回	6回	8回	2回	2回

中学校	内 容
志木中 2年	アイマスク体験（アイマスク体験ボランティア）3回 聴覚障がいについての講話、手話体験 （志木市聴覚障害者の会、志木手話サークル）3回 点字体験（志木点訳サークル）3回 社会福祉について考える講演会（社協職員）
志木二中 2年	視覚障がいについての講話、コンサート（視覚障がい当事者） アイマスク体験2回、点字体験2回 （アイマスク体験ボランティア、志木点訳サークル）
宗岡中 2年	福祉講演会（車いす利用者、社協職員） 車椅子体験（車いす体験ボランティア）
宗岡二中 3年	アイマスク体験（アイマスク体験ボランティア）
中学校計 18件	

イ、福祉教育を目的とした福祉機材の貸出

貸出物品	件数
車椅子・スロープセット	9件
アイマスク・白杖・食事シミュレーション	15件
点字器	13件
視覚障がい者日常生活用具	1件

聴覚障がい者日常生活用具	11件
高齢者擬似体験セット	1件
視覚障がい関連ビデオ	11件
聴覚障がい関連ビデオ	9件
車椅子関連ビデオ	9件

ウ、朝霞地区四市福祉教育研修会

実施日 8月6日、7日（全2日間）

場 所 朝霞市総合福祉センター「はあとびあ」

参加者 1日目62人、2日47人 延べ109人

⑧ 地域福祉教育

広く地域住民に対し、福祉・保健・障がいなどさまざまな生活課題への理解を促進するための地域福祉教育事業を関係する団体などと協働で実施した。

実施日	参加者	内容と協働団体	会場
8/19	120人	ふれあい講演会～メッセージライブ～ 「目が見えない」これが私の個性です (視覚障がい当事者)	総合福祉センター
8/21	12人	車いす講習会 (社協訪問介護事業所、ふれあい広場)	総合福祉センター
9/16	31人	聞こえない人の気持ちを考える講座 (志木市聴覚障害者の会)	いろは遊学館
10/13	11人	ガイドヘルプ講習会 (アイマスク体験ボランティア)	総合福祉センター
12/5	30人	知的障がい家族支援研修会	ふれあいプラザ
3/5	170人	普通学級、特別支援学級の「共同学習・交流の発表」 (宗岡小学校、宗岡第四小学校)	総合福祉センター

(3) 在宅福祉事業

高齢者や障がいのある人などが地域生活を送るための在宅福祉サービス事業を行った。また、介護保険や日常生活用具などの福祉制度を利用できない市民（会員）に対し、車椅子など在宅で生活する上で必要となる福祉機材等について貸出を実施した。

<事業別財源内訳表>

勘定科目	ふれあい交流	福祉機材貸出	災害見舞金	家族介護交流	介護初任者
会費収入	0	50,479	45,000	0	2,000
受託金収入	1,200,000	0	0	200,000	0
事業収入	0	105,000	0	0	0
収入合計	1,200,000	155,479	45,000	200,000	2,000
事業費支出	1,111,112	89,194	45,000	184,000	2,000
事務費支出	88,888	66,285	0	16,000	0

支出合計	1,200,000	155,479	45,000	200,000	2,000
収支差額	0	0	0	0	0

① ふれあい健康交流会（市からの受託事業）

65歳以上の単身世帯(日中単身含む)で、食生活の改善を必要とする閉じこもりがちな人に対し、会食交流会の実施を通じ、地域における交流機会の拡大と外出機会の増加を図った。

ア、定例実施分

地区・会場		グループ	回数	延参加人数(人)	
				登録者	ボラ
本町	いろは遊学館	本町地区	7	107	69
柏町	第二福祉センター	柏町地区	7	116	56
館・幸町	志木四小もくせい	館・幸町地区	4	62	31
宗岡	総合福祉センター	宗岡1班	7	121	76
	宗岡公民館	宗岡2班	※7	123	40
合 計			32	529	272

※宗岡2班は、7回中3回は宗岡1班と合同

イ、ボランティア協力状況

協力グループ名	回数
食生活改善推進協議会（本町）	4
食生活改善推進協議会（柏・中野）	4
おんどりクラブ	7
大根の会	5
さくらんぼ	9

ウ、全体イベント

実施日 11月17日 場所 総合福祉センター

参加者 112人

エ、料理ボランティア研修会

実施日 4月16日 内容 衛生・栄養・配膳マナー等 場所 いろは遊学館

参加者 5団体19人

② 車椅子の貸出 延べ100件

③ 災害見舞金の支給 4件

④ 無賃行路者への交通費支給 0人

⑤ 家族介護者交流事業（市からの受託事業）

実施日	参加者	主な内容	会 場
6 / 26 10:00~16:00	介護者 35人 事務局 3人	ホテルランチと川越観光	川越プリンスホテル・川越市街
11 / 11 11:00~15:00	介護者 23人 事務局 2人 協力者 8人	介護者リフレッシュフェスタ	いろは遊学館

#### (4) 共同募金配分事業

共同募金配分金（地域歳末たすけあい募金配分金）を活用し、地域福祉及び在宅福祉を推進するための本会独自事業を実施した。

##### <事業別財源内訳表>

勘定科目	介護用品援助	大掃除援助	地域福祉活動助成	災害見舞金
補助金収入※	959,950	979,344	2,663,706	60,000
収入合計	959,950	979,344	2,663,706	60,000
事業費支出	959,950	979,344	0	60,000
助成金支出	0	0	2,663,706	0
支出合計	959,950	979,344	2,663,706	60,000
収支差額	0	0	0	0

※ 「補助金収入」は、共同募金配分金（地域歳末助け合い募金配分金）

##### ① 介護用品援助

介護保険制度や日常生活用具の給付とならない介護用品の購入負担補助を行った。

食事用エプロン2枚組	42組
すべり止めマット	24枚
防水シート	137枚
ポータブルトイレ防臭剤	46個
プラスチック手袋300枚	171組
手指消毒液	56個
利用者	258件

##### ② 大掃除援助

日常的に掃除ができない世帯に、年末の時期に合わせて専門の業者による「換気扇及びガスレンジ」または「エアコン」の掃除を行った。

換気扇	32件
エアコン	66件
利用世帯	98世帯

##### ③ 歳末地域交流支援

町内会・自治会や婦人会、老人クラブ、子ども会、障がい者団体などが行う地域内での相互交流を目的とした事業に対し、地域における交流活動・団体活動をより活発にするため助成した。

##### ④ 見舞金支給

火災等被災された世帯に対し、見舞金を支給した。

配分世帯 2世帯

#### (5) 戦後70周年平和祈念事業

平成27年は、終戦70周年の節目にあたることから、風化しつつある戦争の体験を次の世代に引き継ぎ、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることにより、平和に対する

市民の意識の高揚を図るとともに、平和な社会の発展に寄与することを目的に市から事業を受託し実施した。

日時	11月14日（土）10:30～12:45（天候；雨）
会場	志木市民会館 パルシテイ203～205
来場者等	165人

サービス区分	3 介護予防事業に要する経費
--------	----------------

事業の概要 志木市から、高齢者の健康維持・介護予防に資する事業を受託し、介護が必要とならないよう、心身の衰えを予防・回復する取り組みを実施するとともに、地域の仲間づくり、生きがいつくりを積極的に展開した。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
会費収入	251,568	社協会費
受託金収入	12,996,000	市受託金
事業収入	385,800	参加者負担金
収入合計	13,633,368	
人件費支出	7,586,672	職員人件費
事業費支出	4,107,163	委託事業
事務費支出	1,939,533	建物管理費
支出合計	13,633,368	
収支差額	0	

### 2 重点施策への取り組み

市が宗岡第四小学校内に設置した「カフェ・ランチルーム宗四小」事業を受託し、閉じこもりがちな高齢者等の積極的な利用を促すサロン事業を展開して、交流できる場の運営を行った。また、カッピー体操など介護を予防する健康体操を市内各所で実施することにより、より多くの高齢者が地域活動に参加できる事業を展開した。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) カフェ・ランチルーム宗四小

高齢者の介護予防活動の拠点として、宗岡第四小学校地内に設置された「カフェ・ランチルーム宗四小」を運営し、児童との交流を通じて、人と人とのつながりづくり、仲間づくり、生きがいつくりに取り組んだ。

#### ① 施設利用

開館日数 243日 利用者数 3,123人

#### ② 給食利用

給食日数 74日 利用者数 1,098人

#### ③ 実施事業

ア、ティーサービス

延べ 720人

イ、スマイル体操（健康体操）

101回実施 延べ 1,954人

ウ、食事会（ひまわり弁当・調理実習）

- a ひまわり弁当 7回実施 延べ71人
- b 調理実習 6回実施 延101人

エ、体力測定会・健康講話会

スマイル体操参加者を対象に体力測定会・健康講話会を実施した。

- a 体力測定 5回
- b 健康講話 5回
- c 施設見学会 2回

(2) いろはカッピー体操

だれでも知っている曲に合わせて、タオルを使ったストレッチや玄米ダンベルを使った志木市独自の筋力アップ健康体操「カッピー体操」を身近な場所で継続的に行った。

① 実施会場、回数、参加人数

会場	回数	参加人数
市民体育館 剣道場	96回	3,236人
総合福祉センター	96回	3,627人
福祉センター	88回	1,652人
第二福祉センター	100回	2,701人
4箇所	380回	11,216人

小地域サロン

町内会館等	実施回数	参加人数
15地区	335回	4,374人

② 指導体制

平成28年3月31日現在 登録ボランティア38人

(3) フットケア事業

転びにくい体を作るため下肢強化を目的としたノルディックウォーキングを実施した。

内容	会場	回数	参加人数
ノルディック ウォーキング	市民体育館 (第1木曜日)	10回	104人
	総合福祉センター (第2土曜日)	10回	450人

サービス区分	4 生活福祉資金貸付事業に要する経費
--------	--------------------

事業の概要 低所得者、障がい者、高齢者、離職者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活を援助するため、実施主体である埼玉県社会福祉協議会と連携を図りながら、資金貸付の窓口として、必要な援助・指導及び事務を行った。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	1,689,000	県社協受託金
収入合計	1,689,000	
人件費支出	1,521,000	職員人件費
事務費支出	168,000	事務所管理費（専有面積）
支出合計	1,689,000	
収支差額	0	

### 2 重点施策への取り組み

実施主体の埼玉県社会福祉協議会をはじめ、志木市福祉課、ジョブスポットしき就労支援センター、志木市自立相談センターとの連携を図り、離職者等に対する支援について迅速かつ適切な対応に努めた。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 貸付相談

相談件数 50件

#### (2) 資金別貸付状況

資金種別	利用者数	内 訳
生活福祉資金	140件	償還・据置中140件、新規12件、完了10件、免除2件
離職者支援資金	3件	償還・据置中3件
臨時特例つなぎ資金	2件	償還・据置中2件
不動産担保型生活資金	1件	貸付中1件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	3件	貸付中1件、新規2件、完了1件

#### (3) 会議・研修

外部研修 1回 延べ1人参加



サービス区分	5 相談支援事業に要する経費
--------	----------------

事業の概要 福祉総合相談を基本に、相談者の課題解決に向けての情報提供、サービスの調整等に取り組んだ。

1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	13,176,000	市受託金
障害福祉収入	4,236,989	計画作成料
収入合計	17,412,989	
人件費支出	15,440,074	職員人件費
事務費支出	1,972,915	事務所管理費（専有面積）
支出合計	17,412,989	
収支差額	0	

2 重点施策への取り組み

多問題を抱える世帯などに対して、安心した生活ができるよう民生委員・児童委員、地域包括支援センターなどの関係機関と連携しながら、あらゆる分野への支援を行ってきた。また、指定特定相談支援事業所として専任職員1名を配置し、障がい者のニーズに対し適切に福祉サービスを利用できるようサービス利用等計画の作成を行った。

3 主要な施策の成果

(1) 相談支援事業

① 福祉総合相談

電話	来所	訪問	同行	関係調整	その他	合計
18件	2件	2件	2件	35件	4件	63件

② 計画相談支援

新規契約		延べ契約	
52件		131件	
身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい
26件	67件	17件	21件

③ 認定調査 年12回 72件

④ 障がい者等相談支援事業所

相談件数 1,240件（障がい別は重複あり）

方法	電話	来所	訪問	同行	関係機関	個別会議	その他	
	489件	158件	101件	15件	434件	13件	30件	
障がい別	身体	重度心身	知的	精神	発達	高次脳機能	難病	その他
	146件	0件	329件	688件	76件	19件	12件	16件

(2) 会議・研修

① 会議・研修 17件 43人参加

② 地区民生委員・児童委員協議会への参加

東部地区民生委員・児童委員協議会定例会	3回
西部地区民生委員・児童委員協議会定例会	6回
宗岡地区民生委員・児童委員協議会定例会	4回

③ 自立支援協議会等

自立支援協議会暮らし部会オブザーバー	3回
相談支援事業所連絡調整会議	10回

サービス区分	6 法人後見事業に要する経費
--------	----------------

事業の概要 障がいや疾病等により判断能力が低下し、一人で生活していくのに不安がある人を対象に、生活支援員が定期的に訪問し、日常的な金銭管理や書類の整理、届出などを支援した。また、日常生活を営む上で判断能力が充分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者などが安心して生活できるよう、法人として成年後見人を受任し、財産管理や身上監護を行った。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
補助金収入	6,802,000	市補助金
受託金収入	971,175	県社協受託金
事業収入	4,903,600	事業利用者負担金
その他の収入	16,460	
収入合計	12,693,235	
人件費支出	11,999,436	職員人件費
事業費支出	68,485	事業実施費
事務費支出	333,320	事務所管理費（専有面積）
支出合計	12,401,241	
収支差額	291,994	法人運営へ繰出

### 2 重点施策への取り組み

権利擁護・虐待防止の視点を持ち、住民の権利を守りながら抱えている問題に対して、関係機関と連携を取りながら事業を実施した。民生委員・児童委員協議会の会議にて啓発活動を実施するとともに、成年後見制度を含めた権利擁護ニーズを把握するため社協事業所内にてアンケートを実施した。

増加する権利擁護ニーズに合わせ、職員体制を整え、権利擁護事業（日常生活自立支援、成年後見人業務、後見監督人業務）を適正に実施できるようにした。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 日常生活自立支援事業

##### ① 実施体制

常勤の専門員1人（兼務）、生活支援員11人の体制で取り組んだ。

##### ② 相談

相談日・時間	相談員	件数
月～金曜日 8時30分～17時15分	常勤職員	616件

##### ③ 利用状況（平成28年3月31日現在）

契約10件（高齢者4件、知的障がい者0件、精神障がい者5件、その他1件）  
新規2件、解約4件

(2) 法人後見事業

① 権利擁護推進事業運営委員会 4回 延べ32人参加

② 利用状況（平成28年3月31日現在）

保佐人 1件（70代男性）

後見人 10件（90代女性2人、80代女性2人、70代女性2人、60代女性1人、  
40代男性1人、40代女性1人、20代男性1人）

後見監督人 3件（市民後見人を監督）

終了者 3件（80代男性逝去、70代男性逝去、70代女性辞任・市民後見人へ）

③ 相談・対応件数

対応件数 932件（身上監護・財産管理620件、職員訪問182件、権利擁護  
支援員訪問128件、法人後見協力員訪問2件）

(3) 会議・研修

① 生活支援員会議・研修 8回 25人参加

② 専門員会議 5回 6人参加

③ 会議・研修 7件 11人参加

(4) 事業説明

① 職員派遣 7件 11人

② 視察（取材）対応等 6件

サービス区分	7 成年後見支援センターに要する経費
--------	--------------------

事業の概要 日常生活を営む上で判断能力が充分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの生活を守る成年後見制度の普及啓発業務をはじめ、制度の利用に関する市民等からの相談に応じ、制度に関する情報を広く発信した。また、市民後見人の育成と活動支援を行った。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	8,950,000	市受託金
事業収入	28,820	事業参加者負担金
収入合計	8,978,820	
人件費支出	6,627,395	職員人件費
事業費支出	1,280,191	講習会、講座
事務費支出	1,071,234	事務所管理費（専有面積）
支出合計	8,978,820	
収支差額	0	

### 2 重点施策への取り組み

成年後見制度の普及啓発として、年2回の権利擁護セミナー、市民後見人養成講座の公開、地域に出向き制度説明等を行う出前講座などを実施した。

また、権利擁護人材バンクでの活動を充実させるため、バンクだよりを定期発行し、登録者に対して権利擁護に関する情報発信を行った。その結果、今年度2人の市民後見人が誕生し、その活動が適正に行えるよう活動支援を行うことができた。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 普及啓発（事業説明等含む）

##### ① 権利擁護セミナー

実施日	参加者	主な内容	会場
10/3	111人	「いまからはじめよう生前整理」 講師 石見 良教 氏	市民会館
3/13	48人	「家族のための成年後見制度講演会&個別相談会」 講演会講師 司法書士 大貫結子氏 個別相談員 大貫結子氏、森本賢一氏	ふれあいプラザ

##### ② 出前講座（制度・事業等説明） 20回

#### (2) 相談・手続きの支援、制度に関する情報提供等

##### ① 相談件数 402件

【相談者内訳】

本人	家族	行政	福祉機関	医療機関	包括	市民後見人	その他	合計
43件	72件	56件	66件	14件	6件	104件	41件	402件

【相談方法】

電話	来所	訪問	同行	メール	その他	合計
240件	100件	20件	17件	9件	16件	402件

【分野】

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
277件	25件	70件	30件	402件

【相談内容】（複数相談あり）

制度全般	申立手続	権利擁護	家族問題	財産管理	身上監護	相続	その他	市民後見活動支援	合計
84件	112件	22件	154件	105件	73件	10件	82件	118件	760件

(3) 市民後見人の養成と活動支援

- ① 市民後見人養成講座 全6回 25人参加
- ② 権利擁護人材バンク
  - ア、登録者 25名
  - イ、フォローアップ研修 4回 延べ64人参加
  - ウ、バンクだよりの発行 9回
- ③ 受任調整会議 3回 延べ20人参加
- ④ 市民後見人活動支援（後見監督業務含む）
  - ア、市民後見人 3人
  - イ、活動支援 104回

(4) 事業説明・視察対応等 10件

(5) 会議・研修 6件 10人参加

サービス区分	8 地域活動支援センターに要する経費
--------	--------------------

事業の概要 障がい者の意志と人格を尊重し、利用者の立場や視点に立った障がい福祉サービスを提供するため、障がい者の声をもとにした創造的活動または生産活動の機会の提供及び社会との交流を図る事業を実施した。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
会費収入	1,029,788	社協会費
補助金収入	6,000,000	市補助金
受託金収入	6,042,000	市受託金
事業収入	714,330	事業参加者負担金
収入合計	13,786,118	
人件費支出	5,139,944	職員人件費
事業費支出	6,981,368	市受託事業、自主事業
事務費支出	2,002,379	建物管理費（専有面積）
支出合計	14,123,691	
収支差額	△337,573	法人運営から繰入

### 2 重点施策への取り組み

障がい者をはじめとするひきこもりがちな市民の社会参加のきっかけとして、宗岡第二公民館との共催により「おとこの木あそび」「パステルアート教室」を開催し、障がい者や高齢男性の社会参加の場を広げることを目的とし、日常生活の活性化を促すことができた。教室事業では、関係機関及びボランティアの協力により新規登録者を得ることができ、着実に登録者が増加した。また、通常の教室事業に加え、ふれあいフェスタや総合福祉センターまつりの行事にも運転ボランティアの協力を得て、送迎を行い、事業参加の支援をした。ガイドヘルプが不足している場合でも視覚障がい者の支援の手配ができるようにスタッフ登録制の支援体制をつくった。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 地域活動支援センターの管理運営

- ① 地域活動支援センター運営委員会 1回 延べ11人出席
- ② 障がい者当事者団体及びボランティア団体への活動場所の提供  
139回 延べ1,746人

#### (2) 自主事業及び受託事業の実施

##### ① 教室事業（創作的活動）

教室名	回数	参加者数
陶芸教室	23回	248人

生け花教室	11回	66人
パステルアート教室	10回	108人
料理教室	12回	164人
詩吟	12回	68人
おとこの木あそび	11回	71人
写真教室	4回	41人
合計	83回	766人

② 親と子の生活訓練（介護の指導方法）

12回 延べ85人参加

③ 青年学級（社会適応訓練）

6回 延べ103人参加

④ 機能回復訓練事業

94回 延べ633人参加

⑤ 車椅子専用車の貸出及び福祉有償運送事業

ア、車椅子専用車貸出 315件

車両別	件数	利用者別	件数
夢ふれあい号	55件	高齢者	4件
いろは号	126件	障がい者	211件
友愛号	134件	その他	100件
合計	315件	合計	315件

イ、運転ボランティア紹介

運転ボランティア8人 延べ81件

ウ、運転協力者講習会 2日間 1人



サービス区分	9 志木市児童センターに要する経費
--------	-------------------

事業の概要 児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童福祉法に基づく目的を達成するため、各種事業を実施するとともに、施設の維持管理に努め、利用者が安心・安全に利用できる施設運営を行った。

(指定管理者)

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	21,547,600	市指定管理料
事業収入	40,800	事業参加者負担金
その他収入	12,000	実習受入謝礼
収入合計	21,600,400	
人件費支出	18,674,910	職員人件費
事業費支出	952,116	自主事業
事務費支出	2,140,847	建物管理費（専有面積）
支出合計	21,767,873	
収支差額	△167,473	積立金から繰入

### 2 重点施策への取り組み

異年齢を繋ぐクラブ事業「季節を食べよう」や「わくわくタイム」等を通じて希薄化してきた子どもの縦関係の仲間作りを援助するとともに、高学年の積極的側面を伸長し、小さな社会形成の営みから児童の発達増進を図った。また、委託事業「交流児童センター」や「移動児童センター」などの館外事業の実施により、市内全域の児童健全育成の場と機会の提供を行いながら施設の周知PR活動を行い、利用の促進を図った。さらに、児童グループ全体で取り組む「こどもまつり」を開催し、地域交流の場を提供した。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 利用状況 開館日数359日

市内利用者	市外利用者	団体利用者	合計	1日平均	事業参加人数
28,900人	2,568人	2,316人	33,784人	94.1人	20,500人

(2) なかよしタイム 237回 延べ1,464人利用

#### (3) 事業実施状況

① 未就学児・保護者主対象事業 5事業 延べ4,257人

事業名	回数	参加人数
なかよしランド	11回	494人
児セビクス	190回	3,402人
子育て支援交流会	1回	30人
リズム運動	11回	209人

みずあそび	9回	122人
-------	----	------

② 小学生主対象事業 18事業 延べ13,536人

ア、定例事業 7事業 延べ10,798人

事業名	回数	参加人数
めざせクイズ王	随時	6,396人
ぬりえコンテスト	12回	536人
コマ検定	随時	63人
けん玉検定	随時	289人
折り紙	随時	1,302人
わくわくタイム	52回	560人
つくってみよう	随時	1,652人

イ、季節事業 8事業 延べ2,388人

事業名	回数	参加人数
季節を食べよう	6回	86人
夏・冬休みチャレンジ会	62回	1,289人
クッキング	2回	36人
こどもスペシャル	1回	499人
工作体験教室	1回	23人
ハロウィンゴーストルーム	1回	448人
お正月遊び	1回	-
おでかけ会(秋)	1回	7人

ウ、移動児童センター 2回 延べ193人

エ、ミニ移動児童センター 3回 延べ87人

オ、ジュニアリーダーの育成 25回 延べ70人(登録5人)

③ 中高生主対象事業 3事業 延べ183人

事業名	回数	参加人数
壁面オブジェ制作事業	1回	23人
ダンス教室	5回	116人
異世代交流会	1回	44人

④ その他一般主対象事業 13事業 延べ2,524人

事業名	回数	参加人数
ミニミニ避難訓練	4回	94人
子育てサークル支援	1回	29人
たけくらぶ活動支援	26回	118人
影絵公演	1回	130人
影絵館外公演	1回	34人
ミニサマーコンサート	1回	192人
防災教室	1回	102人

こどもまつり	1回	788人
七夕週間	1回	471人
児童虐待防止推進月間事業	1回	89人
ふれあいフェスタ	1回	253人
総合福祉センターまつり	1回	224人

⑤ 受託事業

日程	主な内容	参加人数
毎月2回	ミニお笑いライブ、伝承あそび体験、 大道芸パーティ、縁日あそび 長いカップ巻きづくりに挑戦 など	853人

(4) 職員研修

- ① 外部研修 15件 36人参加
- ② 施設見学 2件 5人参加

(5) 実習生受け入れ

1大学、計1人、延べ12日間

サービス区分	10 宗岡子育て支援センターに要する経費
--------	----------------------

事業の概要 子育て家庭の保護者、乳幼児等に対する支援を行うため、子育て親子の交流の場の提供や子育て情報の提供などの事業及び子育てに関する相談・援助を実施し、児童福祉法に基づく子育て支援の拠点として、利用者が安心して安全に利用できる施設運営を行った。(指定管理者)

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	13,239,000	市指定管理料
事業収入	49,100	事業参加者負担金
収入合計	13,288,100	
人件費支出	12,557,448	職員人件費
事業費支出	286,191	自主事業
事務費支出	680,867	建物管理費(専有面積)
支出合計	13,524,506	
収支差額	△236,406	積立金から繰入

### 2 重点施策への取り組み

子育て親子の交流が積極的に図ることができるよう、「あそびの広場」を充実させ、交流の機会を提供し、交流を促進させた。

親子で遊びながら多様な運動を楽しむ「3B体操」や表現活動を楽しむ「リトミック」を実施することで、子育て支援センターの周知を図り利用の拡大につなげた。また、サークル化を目指して事業を開催し、地域で活動に取り組む子育てサークルの支援を行った。

さらに、児童グループ全体で取り組む「こどもまつり」を開催し、地域交流の場を提供した。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 利用状況 開館日数358日

あそびの広場		子育て支援事業 ・相談事業等	合計
子ども	保護者		
7,084人	5,413人	8,969人	21,466人

#### (2) 事業実施状況

- ① あそびの広場 322回 延べ12,497人参加
- ② ほっとタイム 212回 延べ1,133人参加
- ③ 広場事業 8事業 延べ3,602人参加

事業名	回数	参加人数
ミニミニ講座	12回	268人

ミニミニ誕生会	72回	1,075人
かわいいおてて	24回	284人
おおきくなったね	21回	846人
おたのしみタイム	22回	648人
ミニミニ避難訓練	4回	93人
青空ぽけっと	11回	174人
対象別広場	9回	214人

※「みんなのポケット」として子ども用品のリサイクル会を年2回実施した。

③ 子育て事業等 15事業 延べ3,012人参加

事業名	回数	参加人数
親子講座	8回	197人
防災教室	8回	102人
P a P a ' s	21回	156人
リズム運動	11回	209人
子育てサークル支援	25回	613人
ハンドベル隊「ぽけりん」	22回	439人
おさんぽ会	1回	16人
健康stepup講座	2回	29人
みんなの食生活講座	1回	16人
ミニサマーコンサート	1回	192人
こどもまつり	1回	788人
むし歯予防教室	3回	63人
地区健康相談	1回	38人
子育て支援交流会	1回	30人
虐待防止	13回	124人

④ 相談事業 2事業 604件

ア、子育て相談 466件

	睡眠	食事	排せ	発育	発達 ・障害	育児 一般	虐待	保健	家庭 地域	合計
児	24人	51人	18人	9人	26人	224人	1人	63人	15人	431人
大	0人	0人	0人	0人	0人	3人	15人	4人	13人	35人

イ、専門相談 40回 138件

⑤ リフレッシュ事業 2事業 延べ103人参加

事業名	回数	参加人数
リフレッシュ講座	4回	51人
癒されタイム	9回	52人

⑥ 季節事業 3事業 延べ672人参加

事業名	回数	参加人数
みずあそび	9回	122人
いもっこタイム	1回	79人
七夕週間	2回	471人

⑦ ボランティア事業

ア、ぽけっとクラブ

説明会	8回 15人参加 (内児5人保育あり)
活動	23回 74人 (延べ活動者34人) (延べ保育数40人)
登録者数	17人

イ、おもちゃクリニック 11回 171人

⑧ 共催・協働事業

事業名	参加人数
ふれあいフェスタ	253人
総合福祉センターまつり	224人

⑨ その他

見学者及び赤ちゃんの駅利用者など 239人

(3) 職員研修

① 研修 18件 36人参加

② 視察 5件 5人

サービス区分	11 学童保育クラブに要する経費
--------	------------------

事業の概要 保護者等の就労等で常時留守になっている児童を保育する宗岡地区4学童保育クラブの運営を行った。また、学童保育クラブにおける児童の安全と充実した生活を確保し、自主性・社会性・創造性を培うとともに保護者との日常的な連絡、情報交換を行い、基本的な生活習慣についての援助や自立に向けた支援等、児童の健全育成に必要な活動を行った。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	81,193,000	市受託金
収入合計	81,193,000	
人件費支出	66,495,656	職員人件費
事業費支出	7,606,114	自主事業
事務費支出	7,091,230	建物管理費
支出合計	81,193,000	
収支差額	0	

### 2 重点施策への取り組み

法人の特性と資源を生かし、宗岡地区の環境を考慮した特色ある保育を実現した。特に地域行事に参加する等、町内会等の支援と協力を仰ぎながら、学童保育クラブにおけるそれぞれの地域の特色を生かした事業を展開した。

今年度は、小学6年生までの年齢対象拡大に対応し、子どもが『自ら進んで通い続けられる』学童保育クラブであるために、児童が物的にも心的にも安心して過ごせる生活の場所を保障するための育成支援をおこない、異年齢児の発達理解、クラス分け、職員配置など体制・組織づくりに取り組んだ。また、全家庭を対象とした個人面談を実施し、子どもを通して保護者とつながることができた。さらに、児童グループ全体で取り組む「こどもまつり」を開催し、地域交流の場を提供した。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 児童の利用状況 (利用時間 午前8時～午後7時)

	在籍人数 (4/1現在)	開所日数		出席者数		合計
		平日	土曜日	平日	土曜日	
宗岡学童 保育クラブ	67人	243日	51日	10,857人 (67%)	497人 (15%)	11,354人 (58%)
宗岡第二学童保 育クラブ	58人	243日	51日	8,457人 (60%)	535人 (18%)	8,992人 (53%)
宗岡第三学童 保育クラブ	37人	243日	51日	6,448人 (72%)	284人 (15%)	6,732人 (47%)
宗岡第四学童保 育クラブ	57人	243日	51日	9,786人 (71%)	193人 (7%)	9,979人 (46%)

※（ ）内は出席率（出席者数/日数×在籍人数）

(2) 月別在籍数（1～3年生、4年生以上）

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
宗岡	1～3年	59	60	60	58	59	59	60	60	59	58	54	52	58.2
	4～6年	8	8	8	9	9	6	6	5	5	3	3	3	6.1
	合計	67	68	68	67	68	65	66	65	64	61	57	55	64.3
宗二	1～3年	54	55	53	53	53	50	49	49	48	48	48	46	50.5
	4～6年	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3.3
	合計	58	59	56	56	57	53	52	52	51	51	51	49	53.8
宗三	1～3年	31	30	31	34	37	30	29	28	30	29	29	29	30.6
	4～6年	6	5	5	7	8	4	4	4	4	4	4	4	4.9
	合計	37	35	36	41	45	34	33	32	34	33	33	33	35.5
宗四	1～3年	44	47	46	46	49	47	45	45	45	45	44	44	45.6
	4～6年	10	11	11	11	11	11	10	10	9	9	9	9	10.1
	合計	54	58	57	57	60	58	55	55	54	54	53	53	55.7
総計	1～3年	188	192	190	191	198	186	183	182	182	180	175	171	184.8
	4～6年	28	28	27	30	32	24	23	22	21	19	19	19	24.3
	合計	216	220	217	221	230	210	206	204	203	199	194	190	209.2

(3) 緊急時対策

緊急時の対応マニュアルに基づき、防災・防犯訓練を年1回以上実施した。

① 学童保育クラブごとの基本訓練

ア、防災訓練

イ、災害伝言ダイヤル体験

ウ、防犯訓練（不審者対応）

エ、①志木市総合防災訓練に参加

②各学童による防災訓練と防犯訓練

② その他、緊急時対策

・救急救命講習

・甲種防火管理講習に2人参加し各学童常勤職員全員、防火管理者資格取得した

(4) 保護者との相互連絡

災害や台風、学級閉鎖、また児童の欠席など、携帯電話のメール機能を活用し保護者と学童保育クラブとの連絡を迅速に行った。

(5) おやつ提供

多機能型事業所との連携により、安心安全な食材によるオリジナルおやつ提供を行いました。アレルギーのある児童への対応をした。さらに、事業の中で保護者へのおやつ試食会を行い、意見・要望を聴取した。

(6) 学校長期休業時の給食弁当提供について

給食弁当の試食会を行い、保護者に業者選定をしてもらうことで保護者の要望に応えた。また、アレルギー対策、食中毒対策、キャンセル等のシステム化を図り、安心安全



で良質な昼食を提供した。

(7) 事業実施状況

① 自主事業 1事業 延べ204人参加

実施日	事業名	参加人数
11/4～11/30	保護者個人面談	面接児童数204人

② 社協関連共催事業 2事業 延べ822人参加

実施日	事業名	参加人数
6/28	こどもまつり	788人
12/13	ふれあいフェスタ	34人

③ 地域事業に参加 2事業 延べ201人参加

実施日	事業名	参加人数
7/18	民踊流し	こども70人、大人43人
9/27	志木コミュニティまつりに参加	こども34人、大人54人

④ その他

ア、宗岡第二公民館の読み聞かせボランティアによる読み聞かせ（各学童年1回）

イ、宗岡子育て支援センター共催による地域子育て支援「青空ぽけっとin学童」開催（全4回）

ウ、移動児童センターなど児童センター事業に参加 宗岡第四学童保育クラブ

エ、多機能型事業所（クローバー・つくしんぼ）とスポーツレクリエーションに参加

オ、宗岡六区婦人会、町内会、子ども会から盆踊りに招待され、親子で参加

カ、介護予防事業（カフェランチルーム宗四小） ノルディクウォーキングに参加

(8) 会議・研修

① 会議

ア、市主催

- ・要保護子どもセーフティネット会議

イ、社協主催

- ・学童保育クラブ支援員全体会議 年3回
- ・施設長会議 年12回
- ・支援員会議 年12回
- 支援員・補助員会議 8回

② 研修

ア、認定資格研修 4人参加

イ、外部研修 14件 34人参加

ウ、内部研修 5件 89人出席

エ、全職員勉強会（学童保育アドバイザーによる勉強会 8回と支援員勉強会 各2回）

オ、宗岡地区小学校福祉体験授業参加 2体験8件 延べ74人参加

サービス区分	12 居宅介護支援事業に要する経費
--------	-------------------

事業の概要 介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、要支援または要介護の認定を受けた人のケアプランを作成し、要介護者の自立支援を行った。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	2,800,266	市受託金（認定調査）
介護保険収入	29,303,990	介護報酬
収入合計	32,104,256	
人件費支出	23,890,485	職員人件費
事務費支出	2,972,393	事務所管理費（専有面積）
支出合計	26,862,878	
収支差額	5,241,378	法人運営へ繰出

### 2 重点施策への取り組み

地域包括ケアシステムが進む中、積極的に地域との連携を図る場に出向き、顔の見える関係づくりを進めることができた。また、介護支援専門員として必要な疾患・医療知識をさらに深めるとともに、制度移行や地域支援事業に向けた情報を学ぶ機会を持った。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 居宅介護支援

##### ① 職員体制

	平成28年3月末
常勤職員	5人

##### ② ケアプラン数

	平成28年3月末
介護計画	延べ1,789件
介護予防計画	延べ619件

##### ③ サービス担当者会議 228回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービスについて	113回
初回サービス担当者会議（新規利用者）	49回
現在のサービス見直しについて	53回
退院後の在宅復帰に向けておよび退院直後	5回
区分変更	8回

##### ④ 介護予防サービス担当者会議 49回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービスについて	34回
------------------	-----

退院後の在宅復帰に向けて及び退院直後	3回
初回サービス担当者会議（新規）	12回

(2) 認定調査

要介護・要支援認定申請者に対し、125件の認定調査を行った。

(3) 会議・研修

主任介護支援専門員の育成と資質向上のため、多職種連携の場や医療に関する会議を実施し、研修に参加した。また、利用者だけでなくその家族を支援するための知識を深める研修にも積極的に取り組んだ。

- ① 外部研修 16件 延べ20人参加
- ② 志木市介護支援専門員連絡会及び事業所連絡会 2回 延べ8人参加
- ③ 志木市要援護高齢者支援ネットワーク会議 1回 2人参加
- ④ 志木市地域ケアエリア会議 2回 延べ3人参加
- ⑤ 多職種連携研修 3回 延べ8人参加
- ⑥ ケアマネージャー会議 全12回 延べ60人出席

サービス区分	13 訪問介護事業に要する経費
--------	-----------------

事業の概要 介護保険制度における訪問介護事業・介護予防訪問介護事業、障害者総合支援制度における居宅サービス事業・移動支援事業、子育て支援のための養育支援事業、介護保険制度外の自主契約事業等を実施した。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
事業収入	4,033,240	自費契約他
介護保険収入	80,814,417	介護報酬
障害福祉収入	15,759,553	居宅介護等
収入合計	100,607,210	
人件費支出	73,217,357	職員人件費
事務費支出	3,565,563	事務所管理費（専有面積）
支出合計	76,782,920	
収支差額	23,824,290	法人運営へ繰出

### 2 重点施策への取り組み

「信頼と実績」を掲げ、職員のさらなる質の向上を目指し、会議や研修、検討会等を定期的実施し、多数の参加を得た。また、働きやすい職場づくりに取り組むとともに、「ヒヤリ・ハット事例」を有効活用し、事故防止に努めた。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 職員体制

	平成28年3月末
常勤職員	4人
短時間勤務職員	1人
登録ヘルパー	47人

#### (2) 活動時間、利用者数

区 分	活動時間	訪問回数	延べ利用者数
訪問介護	17,177時間	17,289回	1,174人
介護予防訪問介護	3,899時間	3,960回	636人
居宅サービス事業	4,441時間	3,743回	461人
移動支援事業	1,239時間	1,327回	157人
自費契約事業	61時間	56回	13人

#### (3) 研修・会議

日時・場所を考慮して参加率を高め、訪問介護員の知識・技術を高めるため、会議・

研修を実施・参加した。

また、サービス提供責任者の知識向上のため、外部研修等を有効に活用した。

- ① 登録ヘルパー全体研修 年7回 延べ327人出席
  - ② ヘルパー地区会議（4地区）各地区3回 延べ116人出席
  - ③ 新任研修（1年未満の新任対象） 1回 延べ2人出席
  - ④ 外部研修 8回 延べ14人参加
  - ⑤ サービス提供責任者会議 12回 延べ82人出席
  - ⑥ ケース検討会 36回 延べ130人出席
  - ⑦ 地域ケア会議 1回 延べ1人出席
  - ⑧ 自立支援協議会くらし部会 3回 延べ3人出席
- (4) サービス担当者会議 88回 延べ90人参加

身体及び生活環境の変化による業務の見直しと今後の対応について	6回
要介護認定更新に伴うサービス内容の確認	71回
生活状況及びサービス内容の確認	3回
新規訪問でのサービス提供内容について	10回

サービス区分	14 たんぽぽサービス事業に要する経費
--------	---------------------

事業の概要 地域福祉を推進するため、会員の参加と協力により、日常生活で困ったときに相互に助け合うことを目的に、住民参加型ならではの「困った時のたすけあい」の視点により、家事援助を中心とした在宅福祉サービス事業を実施した。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
会費収入	740,000	社協会費
事業収入	4,782,550	利用券代
収入合計	5,522,550	
人件費支出	2,499,329	職員人件費
事業費支出	4,060,680	自主事業
事務費支出	245,036	事務所管理費（専有面積）
支出合計	6,805,045	
収支差額	△1,282,495	法人運営から繰入

### 2 重点施策への取り組み

新規利用者の紹介や実地調査において現状課題の把握と見直しを行い、サービスの改善や質の向上を図った。また、依頼業務内容が「住民相互の助け合い」に即しているか、事前調査を慎重に行った。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 在宅福祉サービス事業の運営

##### ① 年間延べ活動時間

分類	活動時間
一般	4,969.0時間
有資格	403.3時間
軽作業	38.7時間
合計	5,411.0時間

##### ② 利用区分別人数及び時間

利用区分	利用者数	利用時間
高齢者	123人	5,051.0時間
障がい者	5人	13.0時間
保育	6人	266.0時間
病気・けが	7人	10.0時間
その他	28人	71.0時間
合計	169人	5,411.0時間

##### ③ 登録者数

利用者数		協力員数	
利用者	うち新規	協力員	うち新規
169人	69人	58人	6人

(2) 会議・研修

① 協力員会議

3回 延べ37人出席

② 協力員現任研修（訪問介護と合同）

1回 延べ11人出席

③ 協力員新任研修

3回 延べ6人出席

サービス区分	15 志木市福祉センターに要する経費
--------	--------------------

事業の概要 高齢者の介護予防の推進、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの実施など、高齢者福祉推進の拠点として高齢者が健康で明るい生活を送ることができるよう、施設の運営及び事業を実施した。

また、志木市老人クラブ連合会の事務局として、志木市老人クラブ連合会及び各単位老人クラブに関する諸活動の支援を行った。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	28,475,000	市受託金
事業収入	126,648	印刷代
収入合計	28,601,648	
人件費支出	12,774,588	職員人件費
事業費支出	2,211,228	自主事業
事務費支出	13,615,832	建物管理費
支出合計	28,601,648	
収支差額	0	

### 2 重点施策への取り組み

市の公共施設整備計画に従い、老朽化している施設設備を整備し、安心、安全な施設管理を行った。

また、地域において健康で自立した生活が続けられるよう、介護予防事業を強化した。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 利用状況 開館日数 357日（定期清掃に伴う休館日3日間）

市内利用者	市外利用者	合計
48,725人	1,041人	49,766人

#### (2) 教室事業 11教室 122回 1,953人

高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのため、また、新たな利用者を増やすため、8種11教室を実施した。

教室・事業名	回数	参加人数
書道教室1組	7回	145人
書道教室2組	7回	136人
太極拳教室	11回	202人
フォークダンス教室1組	10回	208人
フォークダンス教室2組	11回	245人
健康体操教室	11回	207人



民謡教室	21回	359人
絵手紙教室	11回	125人
健康レクリエーション教室	11回	167人
大人のぬり絵教室	11回	85人
〃（自主勉強会）	11回	74人
合計	122回	1,953人

(3) 高齢者まつり

高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、作品の展示、技能の発表等により、交流や相互協力のきっかけの場として実施した。

実施日	6 / 5 ~ / 7	
場 所	福祉センター	
参 加	芸 能	延べ265人
	展 示	189点
	模擬店	延べ13店補
来場者	約1,000人	

(4) 介護予防事業 7講座 4,397人

介護予防と健康的な自立生活が継続できるよう、運動を中心とした内容の他、認知症予防に重点を置いた講座を開催した。

教室・事業名	内容	回数	参加人数
お気軽ころばん塾	転倒予防体操	週2回	1,129人
楽々筋トレ塾	機能回復訓練機器使用	毎日	2,947人
認知症予防セミナー	イキイキ脳力アップ	7回	136人
	音楽療法	5回	121人
	水引細工	2回	24人
	カーレット	2回	33人
介護予防講座	フットケア	1回	7人

(5) 志木市老人クラブ連合会事務局活動

志木市老人クラブ連合会事務局及び各単位老人クラブに関する事務を実施し日常活動や事業の連絡調整、準備、決算、記録等の諸活動の支援を行った。

(6) 研修・会議

外部研修 2件 3人参加

(7) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、避難訓練を行った。

実施日	主な内容	主な参加者
8 / 29	総合防災訓練（消火、避難）	職員及び利用者
2 / 19	総合訓練（消火、避難、通報）	職員及び利用者

サービス区分	16 志木市第二福祉センターに要する経費
--------	----------------------

事業の概要 高齢者の介護予防の推進、生活の質や教養の向上及び各種運動教室やセミナー、レクリエーションの実施など、高齢者福祉推進の拠点として高齢者が健康で明るい生活を送ることができるよう施設の維持管理に努め、利用者が安心して利用できるよう施設運営を行った。

また、隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者に、定期的な安全確認を行った。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	28,541,000	市受託金
事業収入	17,500	印刷代
収入合計	28,558,500	
人件費支出	9,169,252	職員人件費
事業費支出	1,540,098	自主事業
事務費支出	17,849,150	建物管理費
支出合計	28,558,500	
収支差額	0	

### 2 重点施策への取り組み

市の公共施設整備計画に従い施設設備を整備し、安全性の向上、環境美化向上に努めた。また、高齢者の日常生活の質の向上や健康増進、介護予防をすすめるため、各種教室事業、介護予防事業を行った。

### 3 主要な施策の状況

#### (1) 利用状況 開館日数 355日

(定期清掃及びカーペット改修工事に伴う休館日5日間及び風呂休止日4日間)

市内利用者	市外利用者	合計
44,168人	526人	44,694人

#### (2) 教室事業 9教室 99回 1,578人

高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのため、また、新たな利用者を増やすため、9教室を実施した。

教室・事業名	回数	参加人数
健康体操教室	11回	231人
リズム体操教室	11回	284人
太極拳教室1組	11回	181人
3B体操教室	11回	134人

書道教室	11回	242人
水墨画教室	11回	163人
パワーアップ元気塾	11回	108人
認知症予防ゲーム教室	11回	128人
エンジョイ筋トレ教室	11回	107人
合計	99回	1,578人

(3) イベント活動

利用者のお楽しみ会として、企画・実施した。

実施日	参加人数	イベント名	内容
8/19、12/4	100人	パフォーマンス楽団・結	大道芸と歌のパフォーマンス(2回)

(4) サークル活動支援

登録サークルの活動発表の場として年1回実施した。

日程	サークル数	来場者	内容
5/7	13	200人	サークル発表会

(5) 介護予防事業 9講座 7,374人(早朝体操カウント無し)

運動を中心とした介護予防の他、認知症予防セミナーや健康セミナー等の講座を開催し総合的な介護予防事業を実施した。

教室・事業名	内容	回数	参加人数
転倒予防(お気楽ころばん塾)		週3回	5,151人
楽々筋トレ塾		毎日	1,919人
早朝体操		毎日	—
認知症予防セミナー	大人のぬり絵講座	2回	29人
	水引細工教室	2回	30人
	カレット体験教室	3回	90人
	音楽療法	3回	90人
健康セミナー	リフレッシュ体操教室	2回	56人
介護予防講座	フットケア	1回	9人

(6) 隣接住宅の見守り安全確認

隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢に対し、開館日毎日、見守り安全確認(安否確認)を実施した。

確認日数	確認世帯
355日	10世帯

(7) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、消防訓練をはじめ、職員の研修などを行った。

日程	主な内容	主な参加者
8 / 29	志木市総合防災訓練 召集訓練・避難誘導訓練を行った	職員及び利用者（20人）
2 / 13	志木消防署指導のもと利用者を含めた訓練	職員及び利用者（40人）

(8) 会議・研修

外部研修 2件 3人参加

サービス区分	17 多機能型事業所（生活介護）に要する経費
--------	------------------------

事業の概要 障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ効果的な障がい福祉サービスを実施した。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
就労支援助入	613,411	作業収入
障害福祉収入	29,049,778	障害福祉サービス報酬
事業収入	382,700	サービス利用者負担金
その他収入	34,468	食糧費利用者負担金
収入合計	30,080,357	
就労支援支出	574,943	通所者工賃、材料費
人件費支出	25,687,414	職員人件費
事業費支出	609,371	自主事業
事務費支出	2,703,347	建物管理費（専有面積）
事業税支出	45,438	作業収入税
積立資産支出	9,500,000	積立金
支出合計	39,120,513	
当期収支差額	△9,040,156	積立外は459,844円の増益

### 2 重点施策への取り組み

手作り品のアクリルタワシでは、新製品を開発し売上も増加した。農作物も手入れをする時間を増やし、収穫高が増え、売上アップと利用者の作業拡大に繋げることができた。常勤看護師が加わることで、利用者の健康面の管理が充実した。広報を活用して、アルミ缶提供者の協力を呼びかけ、提供者拡大に繋げた。今後、利用者と家族の高齢化により、利用者の生活全般にわたる対応が求められる。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 就労事業活動

平均月額工賃	活動内容
1,615円	自主製品販売、農作物の栽培と販売、アルミ缶回収

#### (2) 福祉事業活動

##### ① 利用実績

生活支援員9人（常勤4人、短時間5人）の体制で、延べ3,966人の日常生活

上の支援と自主製品づくりおよび販売の支援を行った。

② 販売活動

市内イベントに参加し、自主製品の販売活動を行った。

実施日	イベント名
4 / 5	春のいろは親水公園まつり
6 / 5	志木彩愛まつり
7 / 30	朝霞地区四市福祉教育研修会
8 / 30	いろは市
10 / 18	健康まつり
12 / 6	障がい者理解促進イベント
2 / 7	朝霞地区福祉設立40周年記念大会
年12回	市役所内販売
毎週月～金曜日	オープンスペースでの販売

③ 健診と余暇活動

身体および日常生活能力向上のために健診と余暇活動等を実施した。

	活動内容	回数
健診	内科検診	10回
	歯科検診	2回
	志木市健診事業参加	1回
余暇活動	大正琴	21回
	音楽療法	5回
	食事会	3回
	日帰り研修	3回
	調理実習及び買い物	3回
	スポーツ・レクリエーション	6回
	絵画教室	12回
	リハビリ体操	42回

④ 会議・研修

職員の資質向上のため、障がい福祉に関する会議を実施し、研修に参加した。また、利用者の状態を安定・向上させる上で必要となる関係者間の情報交換などを行った。

- ア、外部研修 10件 延べ10人参加
- イ、職員会議 12回 延べ104人出席
- ウ、常勤会議 3回 延べ27人出席

⑤ 避難訓練

2回 延べ33人出席

(3) 総合福祉センター事業への参加

参加事業名	参加人数	参加内容
ふれあいフェスタ	16人	大正琴の発表と自主製品販売
総合福祉センターまつり	18人	楽器演奏と自主製品販売

(4) 実習体験生の受入

受け入れ先	人数	受入日数
和光特別支援学校	1人	3日

サービス区分	18 多機能型事業所（就労継続支援A型）に要する経費
--------	----------------------------

事業の概要 障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ効果的な障がい福祉サービスを実施した。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
就労支援助入	6,046,387	作業収入
自立支援助入	1,186,123	障害福祉サービス報酬
収入合計	7,232,510	
就労支援支出	6,046,387	通所者工賃、材料費
人件費支出	5,229,270	職員人件費
事業費支出	192,225	自主事業
事務費支出	73,999	建物管理費（専有面積）
事業税支出	0	作業収入税
支出合計	11,541,881	
収支差額	△4,309,371	就労B型から繰入

### 2 重点施策への取り組み

平成27年9月末をもってB型に統合

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 就労事業活動

##### ① 平均月額工賃

平均月額工賃	活動内容
33,342円	食堂運営、販売活動、宗岡地区4学童おやつ提供、福祉センター浴室掃除

##### ② 食堂運営、販売活動、おやつ提供、浴室清掃の実績 ※4月から9月の実績

	営業日数	利用客数	総売り上げ(円)
食堂運営	144日	5,950人	2,882,990
販売活動	96日	—	545,910
おやつ提供	149日	24,563人	2,380,453
浴室清掃	147日	—	244,600

#### (2) 福祉事業活動

##### ① 利用実績

生活支援員（常勤2人）と職業指導員（短時間3人）の体制で、延べ243人の日常生活上の支援と就労の支援を行った。

##### ② 会議・研修



ア、職員会議 11回 延べ67人出席

ウ、ひまわり全体会議 2回 延べ33人出席

③ 避難訓練

2回 延べ10人出席

(3) 実習体験生の受け入れ

7人 延べ30日

サービス区分	19 多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費
--------	----------------------------

事業の概要 障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ効果的な障がい福祉サービスを実施した。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
就労支援収入	11,518,229	作業収入
自立支援収入	39,457,665	障害福祉サービス報酬
事業収入	99,500	サービス利用者負担金
その他収入	7,582	食糧費利用者負担金
収入合計	51,082,976	
就労支援支出	10,482,026	通所者工賃、材料費
人件費支出	27,337,333	職員人件費
事業費支出	860,660	自主事業
事務費支出	2,492,240	建物管理費
事業税支出	1,301,083	作業収入税
繰入金支出	4,309,371	就労A型へ繰出
支出合計	46,782,713	
収支差額	4,300,263	繰越

### 2 重点施策への取り組み

[ひまわり] 食堂の売り上げ増加、学童保育利用者の増加によるおやつ提供数の増加、オープンスペースでの販売開始によるクッキー製造、販売数の増加により、利用者の就労機会を増加することができた。

[クローバー] 今年度新たに施設内作業、施設外就労を一か所ずつ組み入れた。

現在も継続して県平均工賃より高く安定した工賃を提供できている。

安全で楽しく通所できる環境作りの中で、数名の利用者の出席数が増加した。

[共通] 就労継続支援A型利用者の減少と、施設内でのステップアップを実現するため、平成27年9月末でA型を廃止しB型に統合した。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 就労事業活動

##### ① 平均工賃

平均工賃時給額	活動内容
296円	施設外就労、請負作業、食堂運営

② 食堂運営、販売活動、おやつ提供、浴室清掃の実績 ※10月から3月の実績

	営業日数	利用客数	総売り上げ(円)
食堂運営	142日	6,206人	3,254,570
販売活動	94日	—	653,330
おやつ提供	145日	21,455人	2,654,990
浴室清掃	142日	—	240,550

③ 施設外就労

就労場所	活動内容	延べ人数
福祉センター	トイレ清掃	741人
	浴室清掃	335人
公園清掃	清掃及び除草	347人
大村商事	分別業務	1,229人
志木高校グラウンド	除草作業	8人
志木フラワー	園芸補助作業	27人
ふれあいサロン もくせい	窓清掃	24人

※福祉センター浴室清掃は10月から3月

(2) 福祉事業活動

① 利用実績

生活支援員4人(常勤3人、短時間1人)と職業指導員4名(常勤1人、短時間3人)の体制で、延べ5,375人の日常生活上の支援と請負作業および施設外就労の支援を行った。

② 会議・研修

資質向上のため、障がい福祉に関する会議・研修を実施・参加した。また、利用者の状態を安定させる上で必要となる関係者間の情報交換などを行った。

ア、外部研修 5件 延べ7人参加

イ、職員会議 12回 延べ93人出席

③ 避難訓練

2回 延べ33人実施

(3) 総合福祉センター事業への参加

参加事業名	参加人数	参加内容
ふれあいフェスタ	9人	大正琴の発表と演奏鑑賞
総合福祉センターまつり	14人	楽器演奏と生活介護の自主製品販売

(4) 実習体験生の受け入れ

受け入れ先	人数	日数
職場体験学習(宗岡中)	2人	延べ3日
所沢おおぞら特別支援学校	3人	延べ12日

サービス区分	20 地域包括支援センターに要する経費
--------	---------------------

事業の概要 柏町、館・幸町地区において、「地域包括ケア（高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるようにすること）」を推進する中核機関として、志木市からの委託を受けて活動展開した。

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	44,652,500	市受託金
事業収入	104,600	事業参加者負担金
介護保険収入	10,927,879	介護予防居宅介護収入
収入合計	55,684,979	
人件費支出	41,529,527	職員人件費
事業費支出	5,744,166	市委託事業、自主事業
事務費支出	5,937,078	事務所管理費（専有面積）
支出合計	53,210,771	
収支差額	2,474,208	法人運営へ繰出（積立）

## I 志木市高齢者あんしん相談センター柏の杜

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	21,249,100	市受託金
事業収入	68,800	事業参加者負担金
介護保険収入	4,961,698	介護予防居宅介護収入
収入合計	26,279,598	
人件費支出	19,251,060	職員人件費
事業費支出	3,114,754	市委託事業、自主事業
事務費支出	1,670,637	事務所管理費（専有面積）
支出合計	24,036,451	
収支差額	2,243,147	法人運営へ繰出（積立）

### 2 重点施策への取り組み

社会福祉協議会が運営する地域包括支援センターとして、地域包括ケアの推進のために、介護サービスに限らず、地域の保健・医療・福祉サービスやインフォーマルサービスなどのさまざまな社会資源が連携できるよう、地域ケアエリア会議等を活用して、高齢者への包括的支援を行った。

平成27年度は、柏の杜事業参加者の中で、元気な方にはボランティアとしての事業参

加を促し、生きがいつくり等を行った。また元気回復事業やオレンジカフェを毎月行い、介護予防や居場所づくり等を行った。

### 3 主要な施策の成果

#### <地域包括支援センター>

##### (1) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 6, 545件 (実人数 560人、なんでも相談会 49人)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
4, 162件	843件	1, 456件	84件	6, 545件

##### ② 実態把握業務

高齢者世帯実態把握二次調査 65件

##### ③ 地域におけるネットワークの構築

ア、会議・研修会開催 34回

地区民生委員会議開催 (柏町)	1回 (21人参加)
西部地区民生委員会議定例会	1回
地域運営推進会議	5回
要介護高齢者個別支援ネットワーク会議	1回
介護予防講演会	1回
いろは100歳体操体験会	3回
いろは100歳体操サポーター養成講座・フォローアップ講座	4回
地域ケアエリア会議	7回
オレンジカフェ(杜のカフェ)	12回

イ、活動支援 34回

地域の高齢者サロン活動支援	1回
町内会との連携	1回
柏町内個人商店へ柏の杜周知活動	14回
ふれあい健康交流会への参加	8回
家族介護者交流事業への協力	1回
話し相手ボランティア定例会への参加	9回

ウ、出前講座 11回 延べ329人

##### (2) 権利擁護業務

###### ① 相談

ア、権利擁護・成年後見人制度関連相談 6件・実人数5人

イ、虐待関連相談 4件・実人数2人

###### ② 啓発講座

ア、老後の法律ワンポイント講座 1回 15人参加

「相続・遺言のミニ講座&個別相談会」

イ、交通安全アドバイス 17回 303人

ウ、消費生活防犯アドバイス 17回 303人

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 相談支援

介護支援専門員からの相談	947件
サービス事業者からの相談	902件

② 支援のための会議・研修

介護支援専門員連絡会議	2回
介護支援専門員研修会	2回
サービス担当者会議（ケアマネ支援）	9回
ケアプランチェック	1回

③ 地域ケア会議・地域ケアエリア会議

地域ケア中央会議	1回
地域ケアエリア会議	7回

(4) 会議・研修

職員の資質向上のため、地域包括支援センターに関する会議・研修に参加した。

また、利用者の生活を支える上で必要となる関係者間の情報交換・協議などを行った。

① 職員外部研修 31件 延べ36人参加

② 関係会議 45回

③ 関係事業打合せ 21回

<介護予防支援事業所>

(1) 介護予防サービス計画給付管理数

介護予防支援事業所として、延べ1,050件の要支援認定者の介護予防サービス計画を作成した。

(2) 介護予防サービス計画サービス担当者会議

サービス担当者会議	71回
-----------	-----

(3) 要介護認定申請書等の申請を代行

申請代行	121件
------	------

<市受託事業>

(1) 二次予防事業把握事業

実態把握件数	33件
二次予防事業参加	27人
要介護ハイリスク者実態把握	231件／315件中

## (2) 家族介護者教室

日 程	内 容	出席数
7 / 2 8	認知症の方への接し方	1 5 人
1 1 / 2 4	認知症の方への接し方	1 9 人

## (3) 元気回復事業

内 容	回数	出席数
体操&脳トレ	2 0 回	5 2 9 人
大人の塗り絵	3 回	5 7 人

## (4) 認知症施策

① オレンジカフェ～杜のカフェ～

② 声掛け訓練

内 容	回数	出席数
杜のカフェ	1 2 回	3 4 4 人
声かけ訓練	1 回	2 6 人

## Ⅱ 志木市高齢者あんしん相談センター館・幸町

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	23,403,400	市受託金
事業収入	35,800	事業参加者負担金
介護保険収入	5,966,181	介護予防居宅介護収入
収入合計	29,405,381	
人件費支出	22,278,467	職員人件費
事業費支出	2,629,412	委託事業、自主事業
事務費支出	4,266,441	建物管理費
支出合計	29,174,320	
収支差額	231,061	法人運営へ繰出（積立）

### 2 重点施策への取り組み

社会福祉協議会が運営する地域包括支援センターとして、地域包括ケア推進のために、介護サービスに限らず、地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動、インフォーマルサービスなどのさまざまな社会資源が連携できるよう、地域ケアエリア会議等を活用して、高齢者への包括的支援を行った。

また、元気回復事業による「サロンひまわり」や「脳活性化ゲーム(脳トレ)」での介護

予防事業や、地域の高齢者の拠り所づくりを地域住民と力を合わせて取り組み、「小地域サロンおりーぶ」へと発展させた。

認知症への対応としては、街なかふれあいサロン「スペース・わ」を活用し、サロンのボランティアと協同して「認知症カフェなごみ」を運営した。

さらに、幸町での新たな拠点づくりをコープみらい幸町店に見い出し、コープみらいと検討を重ね、平成28年度の元気回復事業をおこなう場を設定した。

### 3 主要な施策の成果

#### <地域包括支援センター>

##### (1) 総合相談支援業務

##### ① 総合相談受付件数 5,385件（実人数 604人）

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
3,274件	427件	1,552件	132件	5,385件

##### ② 実態把握業務

高齢者世帯実態把握二次調査 74件

##### ③ 地域におけるネットワークの構築

ア、会議・打ち合わせ 60回

会議名	参加回数
民生委員会	2回
地域運営推進会議（たての杜）	6回
地域運営推進会議（健康倶楽部）	6回
要介護高齢者個別支援ネットワーク会議	1回
街なかふれあいサロンスペース・わ連絡会議	6回
健康増進センター事例検討会（ハイリスク者支援保健師等の相談技術向上事業）	2回
地域福祉のための意見交換会	1回
家族介護者教室	1回
元気回復事業	2回
いろは百歳体操	3回
とちの樹体操サロン	1回
サロンおりーぶ	2回
コープみらい	3回
認知症カフェ	5回
認知症サポーター養成講座	3回
社会福祉協議会所属長会議	4回
包括・館幸町ミーティング	12回

イ、活動支援 29回

地域の高齢者サロン活動支援	23回
ふれあい健康交流会への参加	2回
話し相手ボランティア活動支援	4回

ウ、出前講座 8回 延べ374人



(2) 権利擁護業務

① 相談

ア、権利擁護・成年後見人制度関連相談 13件・実人数 4人  
イ、虐待関連相談 30件・実人数 10人

② 啓発講座

老後の安心のための法律ワンポイント講座 1回 29人参加  
「高齢期をおだやかに過ごす物と心の整理」

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 相談支援

介護支援専門員からの相談	524件(実人数30人)
サービス事業者からの相談	857件(実人数10人)

② 支援のための会議・研修

会議・研修名	参加回数
介護支援専門員連絡会	2回
介護支援専門員研修会	2回
サービス担当者会議への参加	9回

③ 地域ケア会議・小地域ケア会議

会議内容	参加回数
地域ケア中央会議	1回
地域ケアエリア会議	8回

(4) 研修

職員の資質向上のため、地域包括支援センターに関する会議・研修に参加した。  
また、利用者の生活を支える上で必要となる関係者間の情報交換・協議などを行った。

① 外部研修 18回 延べ19人参加

② 関係会議 39回

会議名	参加回数
地域包括支援センター運営協議会	2回
地域包括支援センター連絡会議	6回
社会福祉士部会	4回
看護師部会	4回
主任ケアマネ部会	8回
認知症対策部会	8回
認知症初期対応集中チーム員会議	3回
他職種連携研修(会議)	2回
他職種連携代表者会議	1回
生活支援体制整備連絡会議	1回

<介護予防支援事業所>

(1) 介護予防サービス計画給付管理数

介護予防支援事業所として、延べ1, 255件の要支援認定者の介護予防サービス計画を作成した。

(2) 介護予防サービス計画サービス担当者会議

サービス担当者会議	90件
-----------	-----

(3) 要介護認定申請書等の申請を代行

申請代行	149件
------	------

<市受託事業>

(1) 二次予防事業把握事業

実態把握件数	42件
二次予防事業参加	41人
要介護ハイリスク者実態把握	148件 / 520件中

(2) 家族介護者教室 3回 16人出席

(3) 元気回復事業 2コース 16回

事業名	内容	回数	参加者
サロンひまわり	園芸活動、脳トレ、体操、手作業、歌、音楽会、茶会	8回	99人
脳活性化ゲーム&笑ふヨガ in もくせい	ミニ講座、脳活性化ゲームと笑ふヨガ	8回	129人

(4) 認知症カフェ 5回

事業名	内容	回数	参加者
認知症カフェなごみ	講座、情報交換、相談、お茶会	5回	125人

サービス区分	21 志木市総合福祉センターに要する経費
--------	----------------------

事業の概要 複合施設の利点を活かし、住みよい地域社会の形成が実践できる事業を、関連機関や様々な団体と連携して企画・実施し、地域福祉の増進を図った。また、利用者が安全快適に利用できるように総合福祉センター及び宗岡第二公民館の施設管理を行い、良質な施設・設備を提供した。(指定管理者)

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	39,365,000	指定管理料
事業収入	2,801,570	貸館利用料
収入合計	42,166,570	
人件費支出	17,810,377	職員人件費
事業費支出	438,597	総合福祉センター事業
事務費支出	20,847,845	建物管理費(専有面積)
支出合計	39,096,819	
収支差額	3,069,751	法人運営へ繰出(積立)

### 2 重点施策への取り組み

施設の老朽化に伴う、消防設備不良、建具の不具合、漏電、漏水等必要個所の修繕を行い利用者が安心、安全に施設を利用していただけるよう努めた。

また、施設利用者のアンケート内容を参考に、会議室机の買い替え、床の剥離清掃、調理室の整備等を行った。

「ふれあいフェスタ」「総合福祉センターまつり」を実施し、利用者相互の交流を深めるとともに施設利用の促進に努めた。

### 3 主要な施策の成果

#### (1) 利用状況

開館日数		359日
1階 ホール	利用回数	628件
	利用人数	35,911人

#### (2) 事業実施状況

##### ① ふれあいフェスタ

音楽発表を通じて、障がいの有無や世代を超えて交流ができる場を提供

実施日	12/13(日)	
場所	総合福祉センターホール	
内容	コンサート	入場者253人
	保育	人数 4人

	館内介助	人数	1人
	移送サービス	人数	4人

② 総合福祉センターまつり

総合福祉センター利用団体の、日ごろの活動成果の発表と福祉事業の啓発

実施日	3 / 5 (土) ~ / 6 (日)	
場 所	総合福祉センター	
参 加	利用者の会及び 福祉関係団体	52団体
	事業所等	18事業所
福祉 サービス 利用者	移送サービス	16人
	手話通訳	4人
	ガイドヘルプ	1人
	車いす介助	4人
他	ボランティア	8人
来場者	延べ2,767人	

③ 利用者の会団体育成支援事業

日 程	6 / 9
内 容	防犯に関する講演会
参加者	34団体、39人

④ ふれあい交流演奏会

日 程	7 / 29
内 容	志木高校吹奏楽部による演奏
参加者	108人

⑤ 大人のための映画会

日 程	12 / 1・2
内 容	最後の忠臣蔵 (前・後編)
参加者	延べ 107人

(3) 防火管理・安全対策

総合福祉センター内の事業所と連携し、館内のすべての機関が参加する消防訓練を実施した。また、火災、地震、事件・事故等の危機に明確かつ迅速に対応できるよう、危機管理マニュアルを職員及び関係者へ周知した。

① 訓練等

消防訓練	2回
屋内消火栓操法技術大会及びその訓練	8回

② 研修

ア、外部研修 5件 延べ15人参加  
イ、内部研修 2回 13人参加

(4) 印刷機貸出及びコピーサービス

地域福祉を推進する団体等に、実費程度で利用できる印刷機及びコピーサービスを実施した。

カラーコピー	498枚
モノクロコピー	8,951枚
印刷機	122件

(5) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。

① 実施方法

施設利用後に提出する利用カードに利用者の満足度が把握できるようアンケート項目を入れ集計。いただいた意見については、改善に努めるとともに、内容をまとめ結果を掲示した。

② 集計数 411件

サービス区分	22 宗岡第二公民館に要する経費
--------	------------------

事業の概要 住民の教養の向上、健康を増進し、情操の純化、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、関係機関や団体と連携し各種事業を実施するとともに、利用者の誰もが安心して利用いただけるように施設の運営を行った。

(指定管理者)

### 1 決算額

勘定科目	決算額	説明
受託金収入	23,920,000	指定管理料
事業収入	2,944,570	貸館利用料
収入合計	26,864,570	
人件費支出	14,949,720	職員人件費
事業費支出	3,100,892	公民館事業、図書室事業
事務費支出	9,553,434	建物管理費（専有面積）
支出合計	27,604,046	
収支差額	△739,476	積立取崩

### 2 重点施策への取り組み

地域の学習拠点として誰もが参加しやすい公民館運営に努め、「健康生活」をテーマにした講座、複合施設の利点を活かした館内事業所との共催事業、よみきかせボランティアと連携したよみきかせ事業などを実施するとともに、新規事業として移動図書室や訪問図書室を行い、積極的に子どもの読書活動推進及び図書室の利用促進を図った。

さらに市が開始したブックスタート事業や小学校への団体貸出、新規事業を意識して、子ども向けの図書や育児書の充実を図った。また、2年ぶりの実施となった曝書（蔵書点検）では図書の状態や登録日、貸出状況を確認しながら除籍し、併せて、図書を分かりやすいレイアウトに変更し、表示や掲示物を更新した。

### 3 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況 開館日数 359日

	施設名	利用人数
3階	301会議室	5,500人
	302	3,991人
	303	4,239人
	304	6,171人
	305	5,340人
	306	5,382人
	和室	1,288人
4階	調理室	2,602人

	トレーニング室	8,758人
	美術工芸室	3,109人
5階	多目的室	9,595人
合計		55,975人

(2) 事業実施状況

① 自主事業 38事業242回 7,542人 (保育22人含む)

事業名		回数	参加者数	
高齢者事業	寿大学	18回	671人	
一般成人事業	生活講座 「シリーズ 健康生活」	いきいき！元気講座	3回	69人
		つぶつぶ雑穀講座	3回	53人
		ぽかぽかアロマ講座	1回	20人
	生活講座	ピラティス講座	2回	38人
	趣味講座	七宝焼講座	1回	18人
		革小物講座	1回	9人
家庭教育 子育て支援 図書室関連 事業	えほんであそぼ		43回	326人
	よみきかせ夏スペシャル		1回	46人
	よみきかせクリスマススペシャル		1回	86人
	よみきかせ 学童訪問	宗岡学童クラブ	1回	45人
		宗岡第二学童クラブ	1回	36人
		宗岡第三学童クラブ	1回	31人
		宗岡第四学童クラブ	1回	44人
	よみきかせ 学校訪問	宗岡第二小学校	1回	176人
		宗岡第四小学校	1回	173人
	移動図書室		2回	46人
	訪問図書室		5回	107人
	夏休み宿題教室		1回	57人
	おこづかい講座		1回	20人
	親子七宝焼教室		1回	22人
	図書室ボランティア講座		2回	10人
大人のための映画会		2回	107人	
青少年事業	職業体験学習 (宗岡中学校、志木中学校)		2回	12人
学校連携事業	宗岡中学校区地域学校保健委員会		1回	170人
	図書室見学会		1回	48人
	子ども陶芸教室		2回	27人
地域福祉事業	おとこの木あそび		11回	74人
	パステルアート教室		10回	121人
	はじめてのそば打ち講座		1回	12人
	ボランティア体験プログラム		1回	23人

地域連携事業	小学生の勉強会	31回	427人
	中学生の勉強会	42回	496人
	羽根倉子ども会調理実習	1回	25人
	羽根倉子ども会クリスマス会	1回	15人
	羽根倉子ども会6年生を送る会	1回	23人
	上木町子ども会郷土かるた練習会	4回	38人
サークル支援事業	ピラティスサークル	22回	174人
	DECOクレイクラフトサークル	14回	134人
館内共催	七夕週間	1回	471人
	ふれあいフェスタ	1回	253人
	総合福祉センターまつり	1回	2,767人

② 陶芸用電気炉利用状況

延べ45回（素焼き21回、本焼き24回）

③ 図書室運営 開館日数 338日

ア、利用者数

児童	青少年	一般	団体	合計
2,069人	290人	8,812人	371人	11,542人

イ、貸出資料数

児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
15,000件	15,102件	3,118件	3,422件	36,642件

ウ、リクエスト受付

児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
611件	2,954件	756件	301件	4,622件

(3) 防火管理・災害対策・職員研修

① 消防訓練

2回実施（9月24日、2月22日） 4人参加

② 社協災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

1回実施（8月29日） 6人参加

③ 研修会・講習会 10件 延べ27人参加

(4) 利用者アンケート

アンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進めた。

① 施設利用アンケート

施設利用後に提出する利用カードに利用者の満足度が把握できるようアンケート項目を入れ集計。いただいた意見については、改善に努めるとともに、内容をまとめ、館内に掲示した。 集計数 2,454件

② 講座アンケート

今後の事業運営に反映できるよう、各講座終了時アンケートを実施した。

集計数 181件



サービス区分	23 自動販売機の設置に要する経費
--------	-------------------

事業の概要 本会が行う社会福祉事業または公益事業に充てるため、市内公共施設内等に自動販売機を設置した。

1 決算額

勘定科目	決算額	説明
事業収入	892,152	自動販売機売り上げ
収入合計	892,152	
事業費支出	114,545	行政財産使用料
支出合計	114,545	
収支差額	777,607	法人運営へ繰出

2 主要な施策の成果

自動販売機設置場所及び内容

設置場所	設置内容
総合福祉センター	清涼飲料水 4 台
福祉センター	清涼飲料水 1 台
第二福祉センター	清涼飲料水 1 台